

禁電子式複写

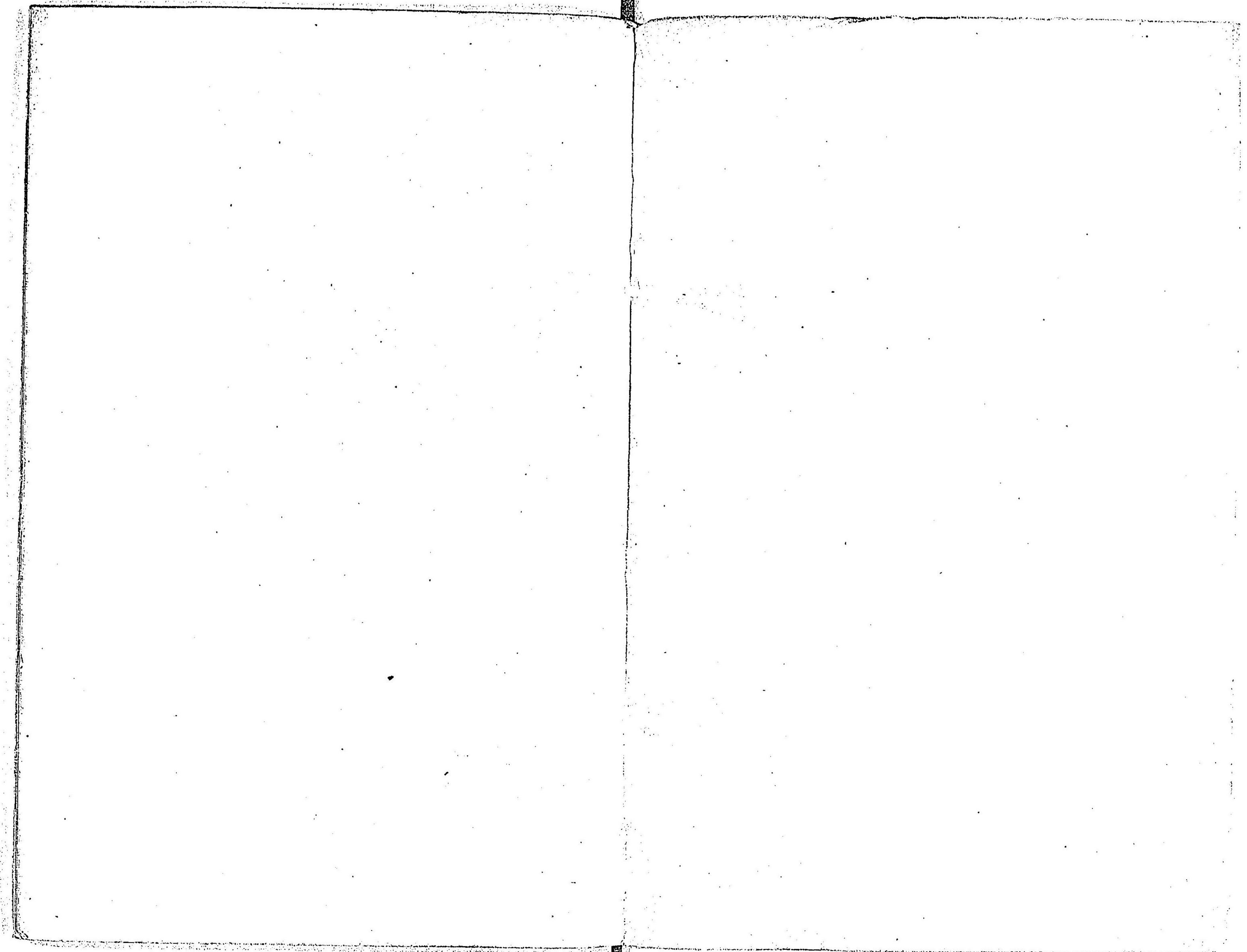
明治
廿三年

京都府府令達要約

第十編

下卷

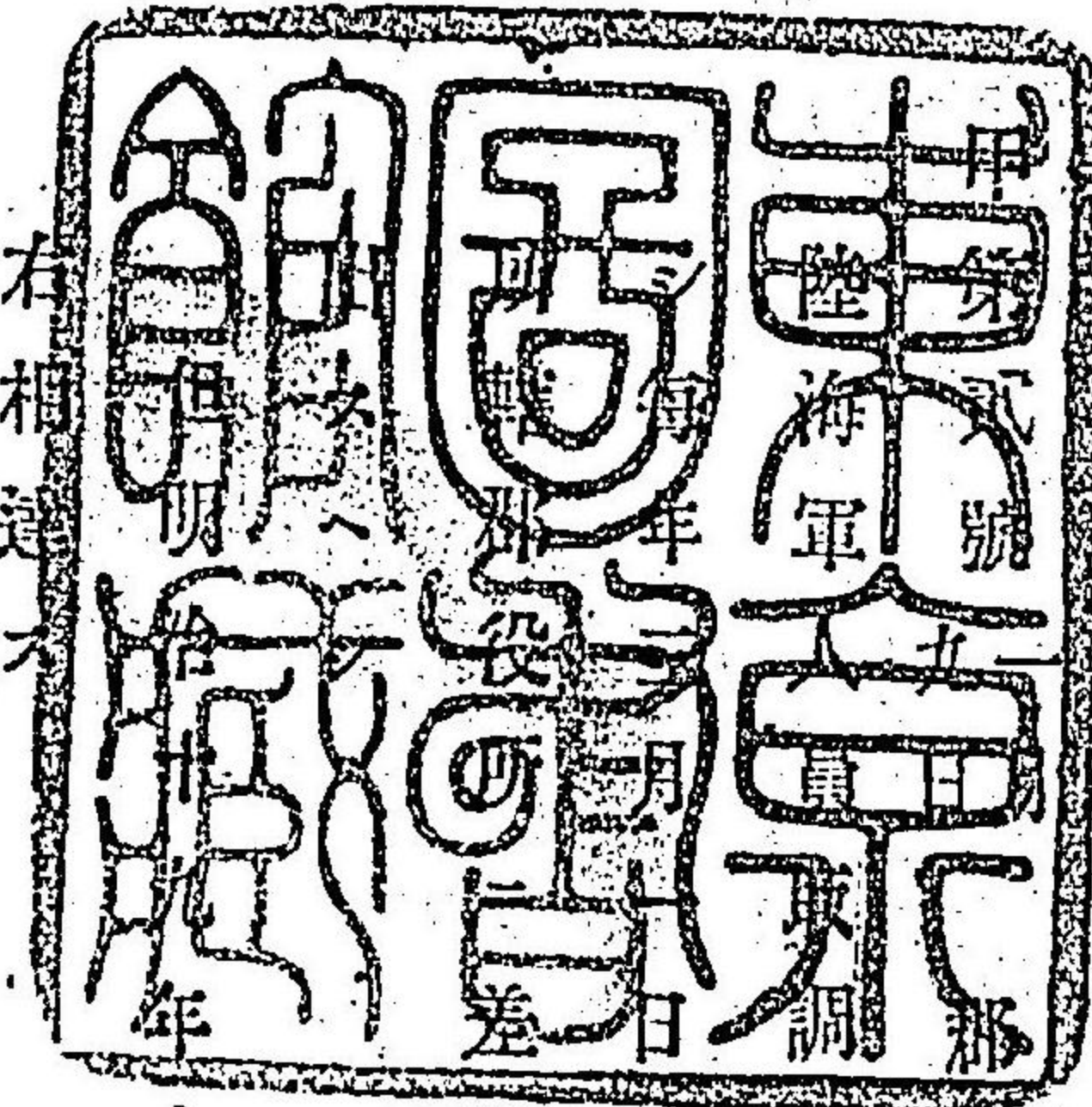
京都府内務部第一課編纂



C2
1113
69-02

○明治三十三年治京都府府令達要約

甲第壹號 一月 郡區町村 署

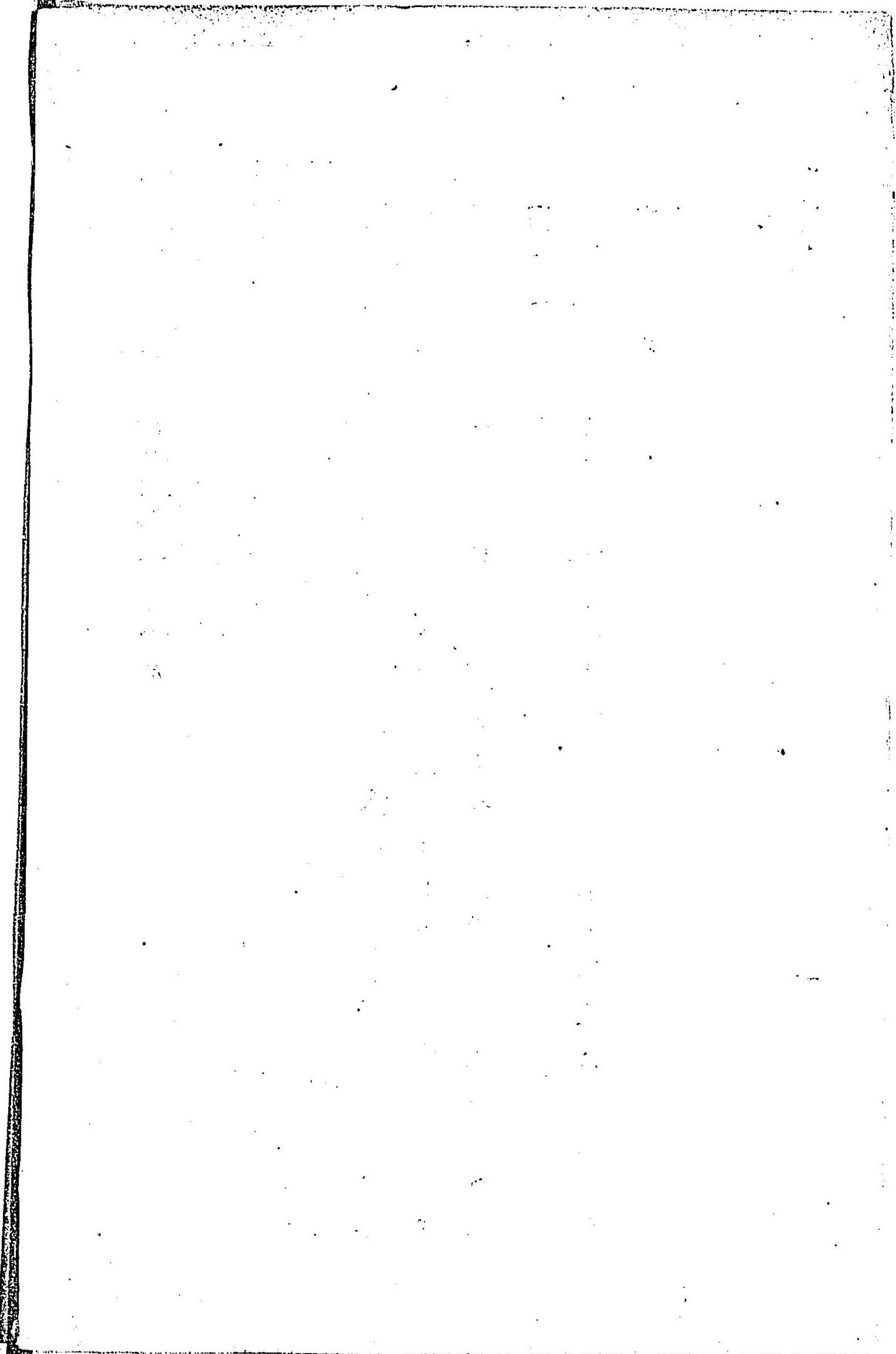


右相違

表並ニ國民兵役人員取調表別紙書式ニ準
調ヲ以テ町村役場ヨリハ同月十五日限リ
出シ郡役所ヨリハ同月卅一日限當廳へ差
十一月甲第二十七号達ハ廢止ス



廿三年



明治三十一年三月一日調年

陸海軍人員取調表

廳名

備考	兵 憲				軍 海				團 師							衛 近							名 稱 區 別					
	計	卒	下 士	將 校	計	職工及雜卒	火 夫	水 兵	將校及相當官 下士及相當官	計	職工及雜卒	輜 重 兵	工 兵	砲 兵	騎 兵	步 兵	將校及相當官 下士及相當官	計	職工及雜卒	輜 重 兵	工 兵	砲 兵		騎 兵	步 兵	將校及相當官 下士及相當官		
																											兵種	兵種
<p>○「〇」年區畫ニハ明示セサル年度以前任命ノ者及</p> <p>○師團及近衛ノ外各官廳ニ奉職セル將校下士</p> <p>○學校ノ區畫第二項</p> <p>○餉勤兵等ヲ混算スヘシ</p> <p>○飯休兵及再役兵各服役年度ニ算入スヘシ尙其人</p> <p>○海軍志願兵ハ其志願ノ年度ニ從ヒ其人員ヲ</p> <p>○同第三項其他トア</p> <p>員ヲ重記シ飯休兵ニハ「キ」字ヲ再役兵ニハ「サ」字ヲ冠スヘシ</p> <p>朱書スヘシ</p>	計			〇年	計			〇年	計								計								〇年	現 役	豫 備 役	後
				年				年																				
				年				年																		年		
				年				年																		年		
				年				年																		年		
				年				年																		年		
				年				年																		年		
				年				年																		年		
				年				年																		年		
				年				年																		年		
				年				年																		年		

陸海軍
陸軍士官學校生徒及士官候補生
陸軍教導團生徒及其他
海軍兵學校生徒及其他

用紙美濃紙

明治廿三年
三月二日調

國民兵役人員取調表

廳名

歴	徵兵年度				小計	徵集猶豫若クハ徵集延期處分ノモノ
	嘉永三年 四月 月生 マテ	全 四年 月生 マテ	全 五年 月生 マテ	全 六年 月生 マテ		
全 元年 二月生 マテ						

廿三年

三

廿三年

全 元二年 二月生 マヨリ	全 明治元年 三月生 マヨリ	全 二年 二月生 マヨリ	全 二年 二月生 マヨリ	全 慶應元年 一月生 マヨリ	全 元治元年 一月生 マヨリ	全 三年 二月生 マヨリ
年一廿	年廿 第二次	年廿	年九十	年八十	年七十	年六十
役	現		役	備		豫

五

全 元二年 二月生 マヨリ	全 文久元年 一月生 マヨリ	全 萬延元年 一月生 マヨリ	全 五年 二月生 マヨリ	全 五年 一月生 マヨリ	全 三年 二月生 マヨリ	全 三年 一月生 マヨリ
年五十	年四十					
	役	備	後			

四

考 備	全	二年二月生 ヨリ	計	全	二年二月生 ヨリ
	全	三年一月生 マテ		全	三年一月生 マテ
	全	三年二月生 ヨリ		全	三年二月生 ヨリ
	全	四年一月生 マテ		全	四年一月生 マテ
	全	四年二月生 ヨリ		全	四年二月生 ヨリ
	全	五年一月生 マテ		全	五年一月生 マテ
全	五年二月生 ヨリ	全	五年二月生 ヨリ		
全	六年一月生 マテ	全	六年一月生 マテ		
全	六年二月生 ヨリ	全	六年二月生 ヨリ		
全	七年一月生 マテ	全	七年一月生 マテ		
全	七年二月生 ヨリ	全	七年二月生 ヨリ		

（表廿
年二

一 表中人員ハ各兵種名稱アルモノ及ヒ検査ノ節不合格トナリ若シハ重罪ノ刑ニ處セラレ或ハ服役中兵役ヲ免セラレタルモノヲ除キ算スヘシ
一 曆次及徴兵年度ノ朱書ハ其例ヲ示スモノナリ

甲第三號 十月 町村

岡山縣巡查並ニ警察雇員ニシテ父母又ハ他ニ侍養者ナキ
祖父母看病歸省出願ノ際ハ其地警察署分署ノ証明ヲ要シ
又看病歸省若クハ自己疾病轉地療養等ノ途次變災ニ依リ
通路壅塞シ期日歸任シ能ハサル場合ハ其地警察官吏又ハ
町村役場ノ証明ヲ得セシムルニ規程候ニ付出願者有之
候節ハ証明書付與相成度旨全縣知事ヨリ照會ノ趣モ有之
候條右ノ場合ハ証明候様取計フヘシ
右相達ス

甲第四號 十一月 郡區町村

客年五月本府甲第三拾三號徴兵事務取扱手續第廿三條ヲ
左ノ通改正ス

廿三年

第廿三條 徵兵事務條例施行細則第四十四條ノ新兵及豫備徵員証書ヲ失ヒ又ハ損傷等ニ依リ新タニ渡シ方ノ請求ヲ受ケタル時ハ郡區長之ヲ大隊區司令官ヲ經テ旅團長ニ又國民兵及免役証書ハ當廳ニ請求スヘシ但他ノ所管ニ於テ終決ノ處分ヲ受ケタルモノハ請求書ニ其所管ヲ記入スヘシ

右相達ス

甲第五號 廿二月 郡區町村

徵兵事務條例施行細則第五樣式裏面心得書第一項豫備徵員ハ云 同月三十一日迄ノ下ニ「輜重輸卒ハ翌年八月一日ヨリ十日迄」ノ十六字ヲ挿入シ交附可致旨通知アリ

右相達ス

甲第六號 廿一月 郡

明治廿一年一月本府甲第一號ヲ以テ府社以下并寺院境内枯損木竹伐採處分セシモノ報告ノ義相達置候處右ハ一ケ年分取纏メ翌年二月廿八日限報告スヘシ

右相達ス

甲第七號 十一月 天田郡町村

東京中央氣象臺ヨリ本府ニ向ケ發スル警報ハ當地方ニ向ヒ進行スヘキ暴風雨アルヲ測知シタルカ又ハ風雨必ス強カラサルモ當地方亦其暴風雨ノ範圍内ニ在ル等ノ時ニ於テ之レヲ發スルモノナレハ爾來左ノ手續ヲ以テ成ヘク警戒ヲ加フヘシ

右相達ス

廿三年

警報取扱手續

第一條

一 其郡役所ニ於テ府立測候所ヨリ發シタル電信ノ警報ヲ受ケタル時ハ適宜其速報シ得ラル、町村役場警察署等ニ急報シ町村役場警察署ハ之ヲ便宜ノ場所ニ揭示スヘシ

第二條

一 警報符號文及ヒ揭示方式等ハ府立測候所ヨリ一定ノ書式ヲ報告スヘシ

第三條

一 警報揭示ノ時間ハ東京中央氣象臺ニ於テ電報ヲ發シタル時刻ヨリ向フ四十八時間揭示スヘキモノトス
但シ四十八時間ヲ經過セハ直チニ揭示ヲ取除クヘシ

第四條

一 警戒續繼ノ報ヲ受ケタル時ハ該電報東京中央氣象臺發シタル時刻ヨリ起算シ更ニ四十八時間ヲ繼續警戒スヘシ

第五條

一 解警ノ報ヲ受ケタル時ハ前四十八時間内ト雖トモ直チニ揭示ヲ取除クヘシ

甲 第八號 廿八日 月 郡區町村

衆議院議員撰舉ニ係ル事務及書式等別紙ノ通内務省ヨリ訓令有リ之レニ準據シ取扱フヘシ
右相違ス

(別紙)

内務省訓令第貳號

廿三年

衆議院議員選舉法及選舉法施行規則ニ就テハ其事務及書式等左ノ各條ニ準據シ取扱フヘシ

第一條 衆議院議員選舉法第十八條ノ選舉人名簿ハ別紙第一號ノ式ニ依リ調製スヘシ

第二條 投票所管理者ハ遅クトモ投票期日ノ五日前ニ投票所ヲ指定シ之ヲ其投票區域内ニ公告スヘシ

第三條 投票所管理者ハ選舉法第三十三條ニ依リ立會人ヲ定メ之ヲ本人ニ通知スルトキハ其指定シタル立會人ノ内若シ正當ノ事故ニ由リテ其職ヲ辭スル者アルモ仍ホ投票期日ノ三日前更ニ立會人ヲ指名スルコトヲ得ヘキ餘日ヲ存シテ之ヲ通知スヘシ但臨時已ムヲ得サル事故ニ由リ投票期日ノ一兩日前ニ至リ其職ヲ辭スル者ア

ルトキハ選舉法施行規則第十五條ニ依リ投票ノ當日投票所ニ參會シタル選舉人中ヨリ之ヲ指名スヘシト雖投票所管理者ハ豫メ其當日指名セントスル者ヲ定メ前以テ之ヲ其本人ニ通牒シ置キ投票ヲ始ムル前ニ參會セシメ臨時指名スルニ差支ナカラシムルヲ要ス

第四條 投票用紙、投票函、入場券、及到着番號札ハ別紙第二號第三號第四號ノ式ニ依ルヘシ

第五條 投票所ハ寺院若クハ學校等ノ如キ可成門戸アル場所ヲ以テ投票所ニ充ツヘシ

第六條 投票所ノ開閉ハ鞞柝又ハ鐘鼓ヲ以テ之ヲ報スヘシ
投票所ハ午前六時三十分ニ其門戸ヲ開キ午後六時ニ之

ヲ閉ツヘシ

十四

第七條 投票所ハ別紙第五號甲乙ノ式ヲ標準トシ選舉人員ノ多少ニ依テ適宜之ヲ斟酌シ受付所、選舉人扣所、投票用紙交付所、投票記載所、投票ノ場所等ヲ區別シ之ヲ設クヘシ

第八條 午前七時ニ於テ投票所管理者ハ參會シタル選舉人ヲ投票用紙交付所ノ入口ニ招集シ選舉法第三十六條ニ依リ立會人ト共ニ投票函ノ空虛ナルコトヲ選舉人ニ示シ且選舉人ノ面前ニ於テ其第一蓋ノ錠ヲ卸シ之ヲ投票所管理者及立會人列席ノ卓上ニ置キタル後投票番ノ順序ニ依リ適宜選舉人數名ツ、ヲ呼出シ投票用紙交付所ニ入ラシメ選舉法施行規則第十九條ノ手續ヲ爲シ

投票用紙ヲ交付スヘシ

第九條 選舉人ニ投票用紙ヲ交付シタルトキハ投票記載ノ爲ニ設ケタル卓上ニ於テ記載セシメ直ニ投票ヲ爲サシムヘシ

投票記載ノ爲ニ設ケタル卓上ニハ呼入レタル各選舉人遲滞ナク記載シ得ル丈ニ數箇ノ筆硯墨ヲ備ヘ置クヘシ

第十條 選舉人出入ノ門戶及投票所出入口等ハ警察官吏又ハ特ニ設ケタル取締人ニ於テ取締ヲ爲スヘシ

第十一條 投票函ヲ閉鎖スルトキハ直ニ其第二蓋ノ錠ヲ卸シ其第一蓋ノ鑰ハ立會人ニ於テ保管シ第二蓋ノ鑰ハ投票所管理者之ヲ保管スヘシ

第十二條 投票明細書ハ別紙第六號書式ニ依リ之ヲ製ス

廿三年

十五

第十三條 選舉法施行規則第二十三條ニ依リ被選人ノ得點ヲ記入スヘキ點數簿ハ別紙第七號ノ式ニ依リ之ヲ調製シ其記入毎ニ之ヲ記入スル書記ノ一人其被選人ノ點數ヲ呼フヘシ

第十四條 選舉明細書ハ別紙第八號書式ニ依リ之ヲ製スヘシ

選舉明細書ハ副本ヲ製シ選舉人又ハ被選人ノ請求アリタルトキハ之ヲ閱覽セシムヘシ

第十五條 選舉法第六十五條ニ依リ府縣知事ヨリ當選人ニ付與スヘキ當選證書ハ別紙第九號ノ式ニ依ルヘシ

第十六條 投票所ハ何郡(市區)何町村投票所ト記シ選舉會

場ハ衆議院議員第何區選舉會場ト記シ各其門戶ニ之ヲ掲クヘシ

明治二十三年一月十七日

衆議院議員選舉人名簿式

但用紙程村又ハ西ノ内

第 何 第		號	號番
直接國稅總納額			直接國稅總納額
金 何 圓		金 何 圓	金 何 圓
地 租	所 得 稅	納稅額區別及納稅年間納稅地	籍 年 齡
何年何月ヨリ何地ニ於テ開闢ナク納ム	何年何月ヨリ何地ニ於テ開闢ナク納ム	從來本府縣ニ本籍ヲ定メ住居又ハ何府縣ヨリ何年何月本籍ヲ移ス云々ヲ記ス	何年何月出生
何年何月ヨリ何地ニ於テ開闢ナク納ム	何年何月ヨリ何地ニ於テ開闢ナク納ム	職	現住所
何年何月ヨリ何地ニ於テ開闢ナク納ム	何年何月ヨリ何地ニ於テ開闢ナク納ム	何郡(市區)何町村	現住所
何年何月ヨリ何地ニ於テ開闢ナク納ム	何年何月ヨリ何地ニ於テ開闢ナク納ム	職	現住所
何年何月ヨリ何地ニ於テ開闢ナク納ム	何年何月ヨリ何地ニ於テ開闢ナク納ム	族	現住所
何年何月ヨリ何地ニ於テ開闢ナク納ム	何年何月ヨリ何地ニ於テ開闢ナク納ム	姓	現住所
何年何月ヨリ何地ニ於テ開闢ナク納ム	何年何月ヨリ何地ニ於テ開闢ナク納ム	名	現住所

號部		何府縣第何區衆議院議員選舉人名簿	

號番	直接國稅總納額	納稅額區別及納稅年間納稅地	籍	現住
			年	所
			齡	名
			身分	
			姓	

○以下表面ノ通ニ付畧ス

- 一 番號ハイロハ分ニ拘ハラズ逐次記入スヘキモノトス
- 一 納稅額區別地租第二ノ欄内ハ撰擧法第七條ノ場合ニ於テ記スヘキ例ヲ示ス
- 一 同シク所得稅ノ第四欄ハ撰擧法施行規則第三條第三項ノ場合ニ於テ記スヘキ例ヲ示ス但家督ニヨリ所得稅ヲ納ムヘキ財產ヲ相續シタルトキハ前項地租ノ例ニヨリ之ヲ記入スヘシ
- 一 此人名簿ノ表紙及卷末ニハ左ノ通り記載スヘシ

(表紙左ノ端)

廿三年

號 二 第

全		全	
折目ノ印シ			
衆議院議員選舉投票用紙		程村又ハ西ノ内六ツ切	
アラビヤノリヲ以テ塗り付ケ置クヘシ			
用紙何府縣		衆議院議員	
人	選舉	人	被選
何某印	何府縣何郡(市區)何町村何番地	何某	何某
全		全	

廿一

(表紙中央)衆議院議員選舉人名簿

何府縣第 選舉區

(卷末)

此選舉人名簿ハ明治 年五月五日ヨリ十五日間何 役所ニ於テ此寫ヲ縱覽セシメ同六月十五日ヲ以テ確定セリ

何府縣 第 選舉區選舉長

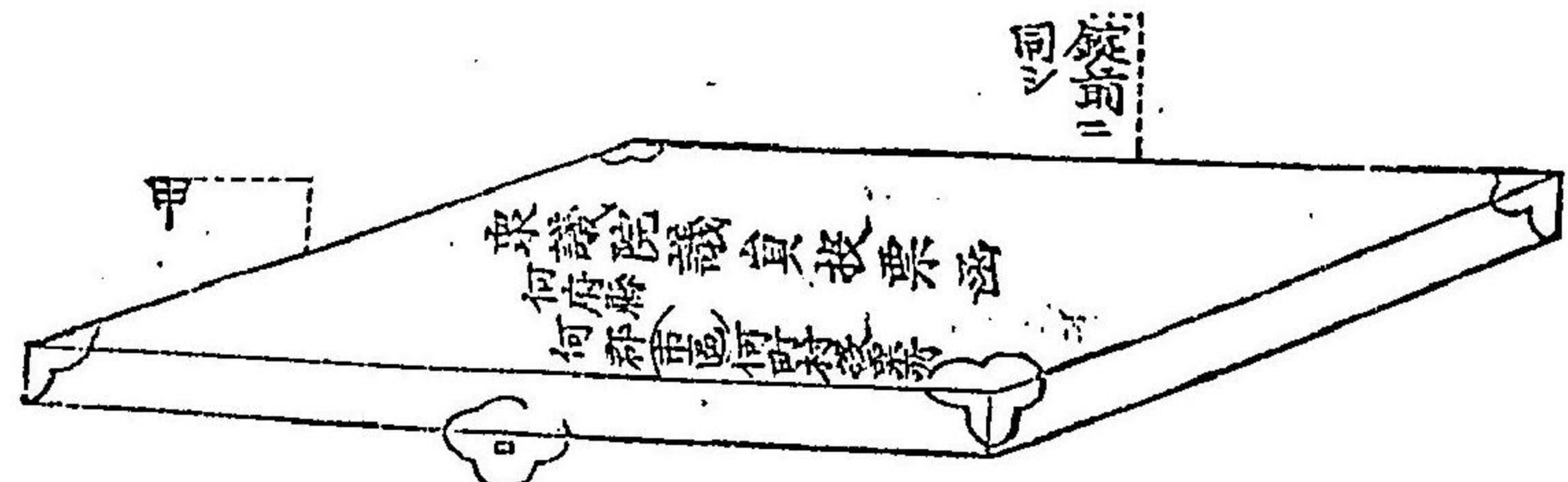
明治 年六月十五日

何府縣何郡(市)長 何 某印

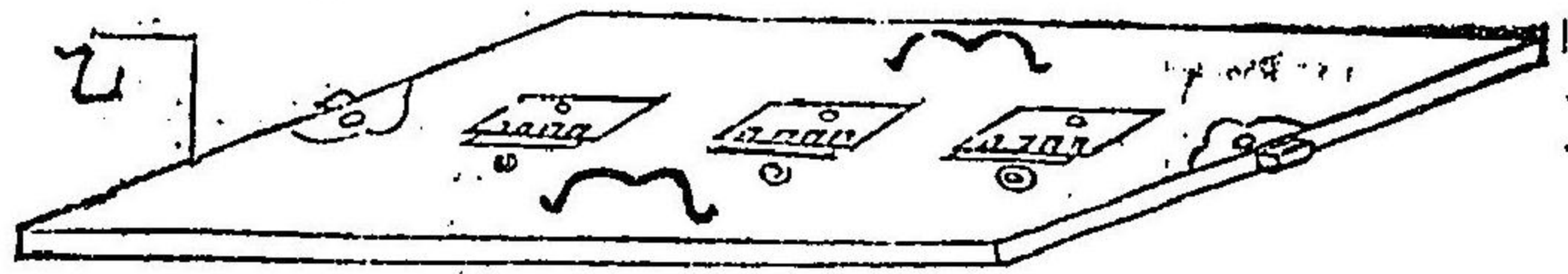
廿三年

第三號

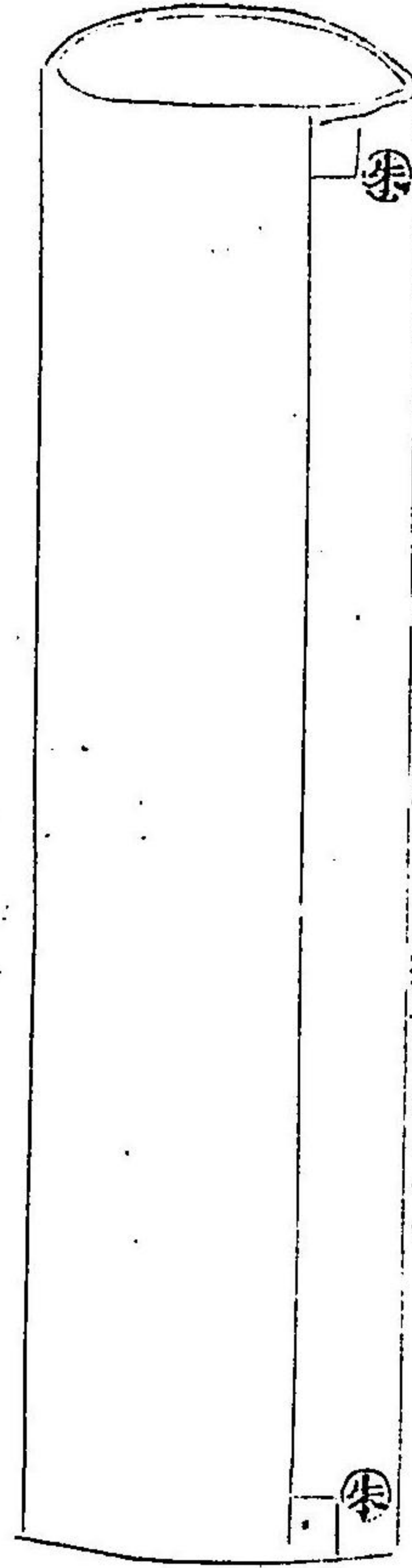
厚任上 凡八步
 高 凡一尺二寸
 巾 凡一尺五寸
 横 凡一尺
 但大小ハ選舉人ノ
 多寡ニ應シ適宜ニ
 之ヲ造ルヘシ



此錠ハ中蓋ノ錠ト異
ナルモノヲ用ユヘシ



廿三



糸線ニ隨ヒ左ノ如ク三ツ折トナシ粘付ノ上投票セシムヘシ

廿二

廿三年

號 四 第 表

券場入所票投學選員議院議衆

選舉人名 簿ノ番號	第 號	選舉人 ノ住所 何府縣何郡(市區)何町村 何番地	姓名 何 某 印	投票所 何府縣何郡(市區)何町村 何番地何々	投票ノ 日 時 何年何月何日午前七時ニ始メ 午後六時ニ終ル
--------------	-----	-----------------------------------	-------------	------------------------------	--

投票所入場券

用紙程村又ハ西ノ内十二切

番 號 札

用紙程村又ハ西ノ内十六切

投票所到着第 何番

⑨

管理者ノ印

裏

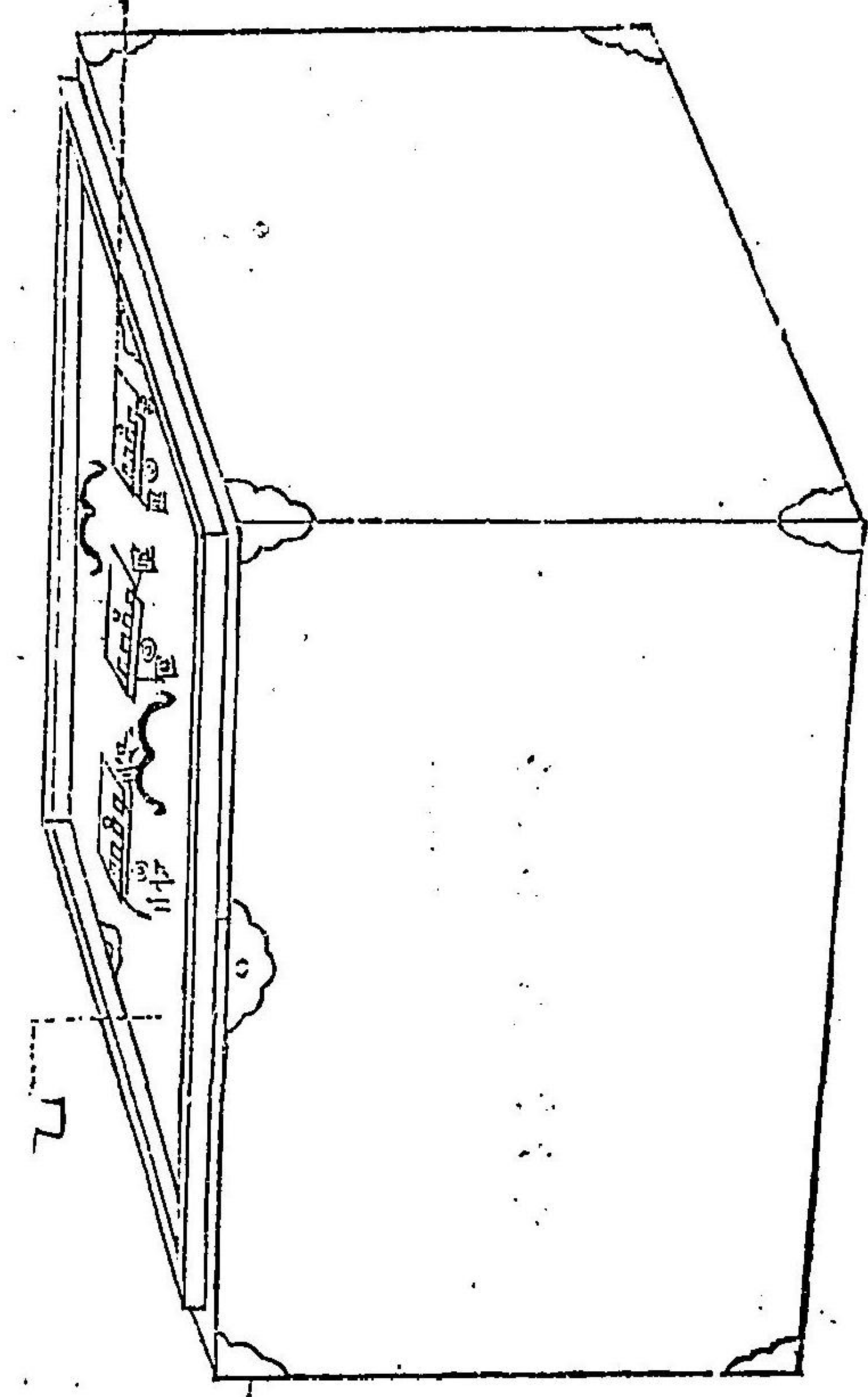
選舉人ハ此券表面姓名ノ下ニ實印ヲ
捺シ投票ノ當日持參シ之ト引換ニ到
着番號札ヲ受取リ投票所ニ入場スヘ
シ

年 月 日

何府縣何郡(市區)何町村投票所管理
何市長 何市長 何某印
何町村長

廿五

此蓋ハオカツガイニ造リ投
票終ノハ蓋トナシ錠ヲオロ
ス但中蓋ノ鑰ハ五ヶ所共一
種ノモノナ用ニ



金物ノ入

丙

廿四

衆議院議員當選證之式

但用紙鳥ノ子四切

第九號

衆議院議員之證

何府縣何郡(市區)何町村何番地

何 某

右者成規ノ資格ヲ有シ正當ノ手續ヲ經テ第 選舉區ニ於テ當選シタルコトヲ證明ス

年 月 日

何府縣知事(爵)何某印

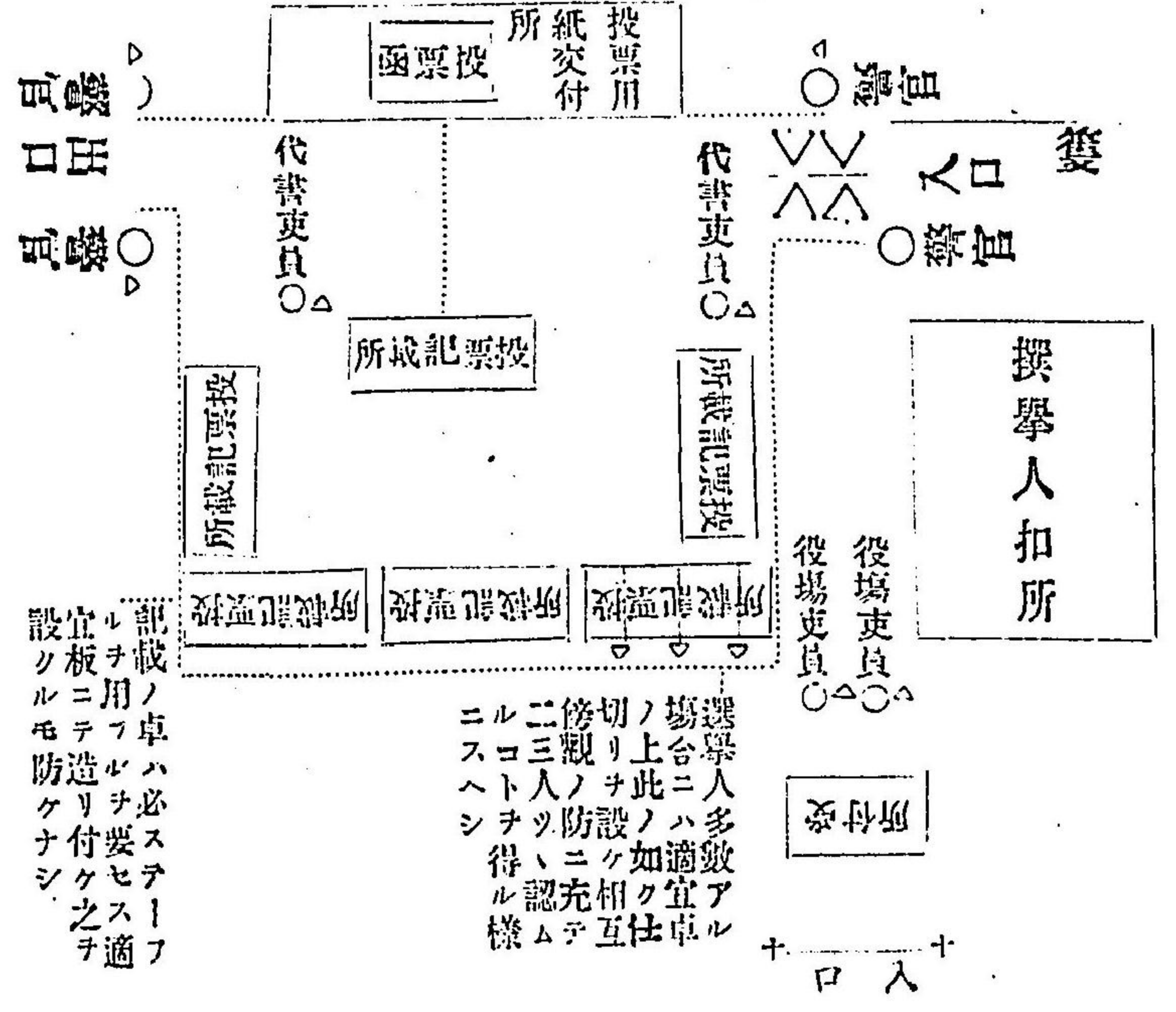
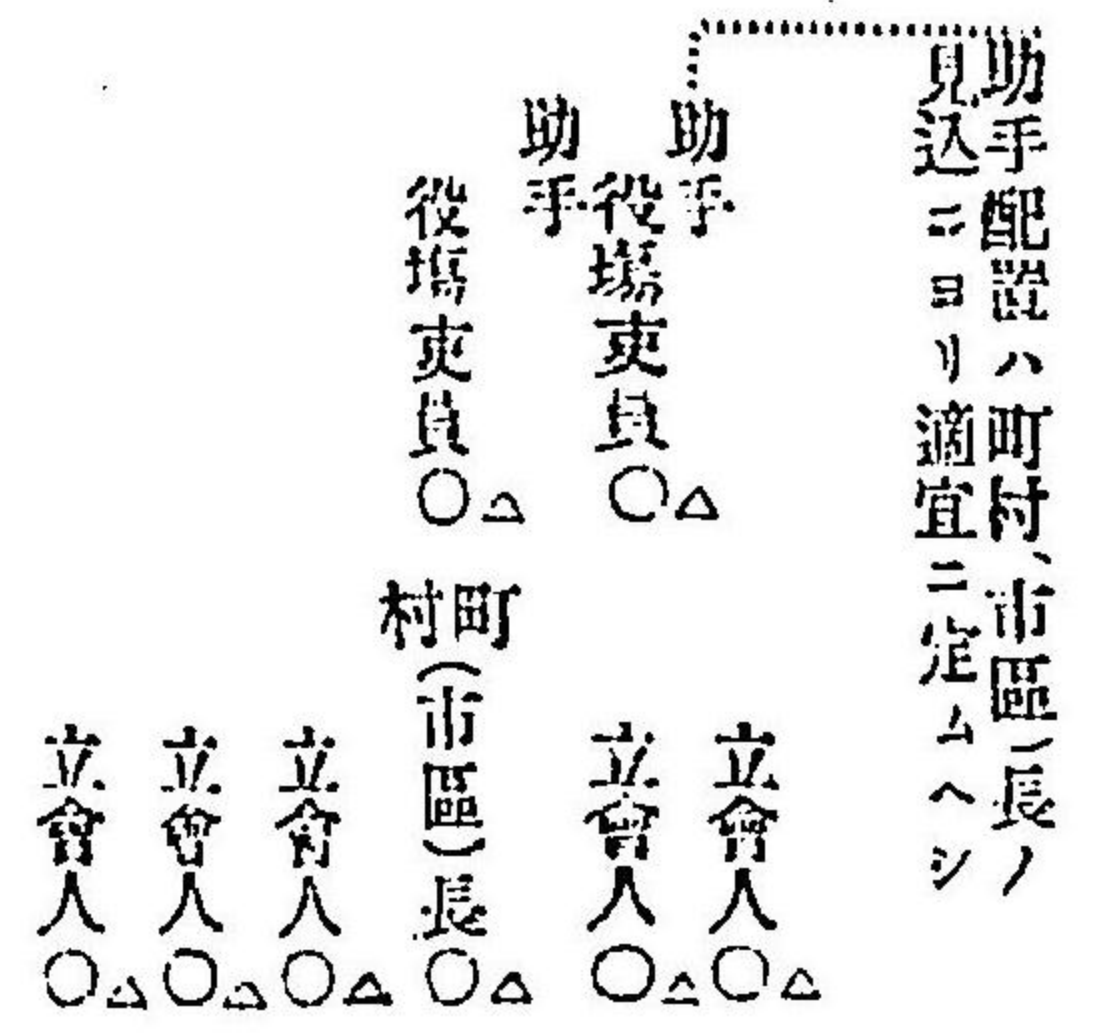
甲 投票所式 △ハ(印)ノ印シ

第五號

廿三年

但丸太ナリ以テ造リ投票所開設毎ニ組立テ用ユヘシ

投票所ハ寺院又ハ學校ヲ用ユルモ元ヨリ其構造一様ナラサレハ此式ニ依ルヲ得サルコトアルヘシト雖モ要スルニ選舉人多數ノ場合ニ於テ相互投票ニ支障ナカラシメントスルニ外ナラサレハ各其構造ニ隨ヒ適宜區別テ爲スヘク又選舉人少數ニテ役場等ヲ用ユルモ支障ナシト認ムル場合ハ大畧乙式ヲ標準トシ之ヲ認ルモ適宜タルヘシ



部載ノ車ハ必ステ一フ
ルヲ用フルヲ要セス適
宜板ニテ造リ付ケテ之
設クルモ防ケナシ

選舉人多數ノ場合ニ於テ相互投票ニ支障ナシト認ムル場合ハ大畧乙式ヲ標準トシ之ヲ認ルモ適宜タルヘシ

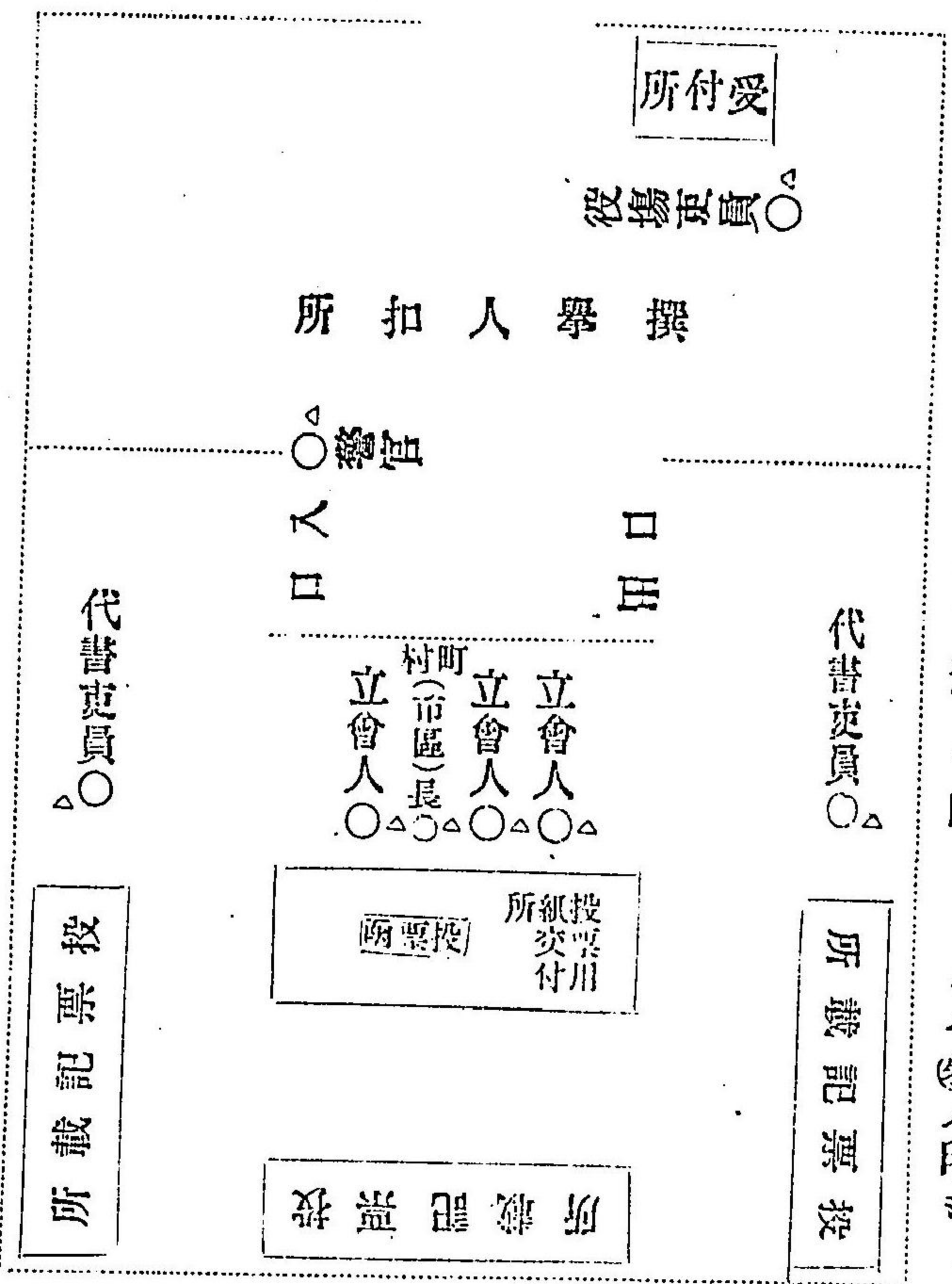
乙 投票所式

ハ指ノ印

廿八
△ハ指ノ印シ

第五號

口
Y
口
△
○



投票明細書式 用紙 常用封紙 但選舉明細書モ全シ

何府(縣)第何選舉區内何郡何町村(何市)

何區(投票所)ノ投票明細書

何年何月何日
何行投票執

(一)投票所管理者タル町村長何某(市長又ハ區長何某)又ハ其

代理何某(ハ何ノ場所ニ於テ投票ヲ行フ爲メ投票區域内

ニ於ケル選舉人中ヨリ左ノ何名ヲ以テ立會人ト定メ選

舉ノ期日何日前ニ選舉ノ當日投票所ニ參會スヘキ旨ヲ

各其本人ニ通知シ本日投票時刻前ニ各立會人參會シタ

リ

第六號

(市)町(村)番地

何 某

同

廿九

廿三年

三十

何 某

同 同

何 某

右立會人中何某何某ハ投票ノ時刻ニ至リ參會セサルニ由リ

右立會人一人モ投票ノ時刻ニ至リ參會セサルニ由リ

投票所管理者ハ參會選舉人中ヨリ更ニ左ノ何名ヲ指名シテ立會人ト爲シタリ

(市)町(村)番地

何 某

同 同

何 某

(二)午前第七時投票所管理者ハ投票ヲ始ムル爲メ立會人ト

共ニ參會選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其空虛ナル

コトヲ示シ且投票函第一蓋ノ錠ヲ卸シタル後立會人ノ

列席スル卓上ニ之ヲ置キタリ

(三)投票所管理者ハ到着番號ノ順序ニ依リ選舉人ヲ呼出シ

選舉人名簿ニ對照シテ定式ノ投票用紙ヲ交付シ各選舉

人ヲシテ順次ニ自ラ之ヲ投票函ニ投入セシメタリ

(四)左ノ選舉人ハ文字ヲ書スルコト能ハサル由テ申立ルニ

依リ投票所管理者ハ選舉法第三十九條ニ依リ町村(市區)

吏員何某ヲシテ其姓名ヲ代書セシメ之ヲ本人ニ讀ミ聞

カセタリ

(市)町(村)番地

卅一

廿三年

何 某

同

何 某

(五)左ノ選舉人ハ選舉人名簿ニ記載セラレヘキ裁判官渡書ヲ所持シタルニ依リ投票所管理者ハ選舉法第四十一條ニ依リ投票用紙ヲ交付シ投票セシメタリ

(市)町(村)番地

何 某

同

何 某

(六)左ノ選舉人ハ選舉法第七十五條ヲ犯シタルニ因リ投票スルコトヲ禁シ併セテ退場ヲ命ジタリ

(市)町(村)番地

何 某

同

何 某

(七)何時ニ至リ投票所管理者ハ投票ノ終ヲ告ケ投票所ノ入口ヲ閉鎖シタリ

(八)投票区域内ノ選舉人總員何名ノ内

一 投票シタルモノ 何 名

一 選舉法第七十五條ニ依リ

投票ヲ禁シタルモノ 何 名

(其他投票ニ關シ投票所管理者ニ於テ緊要ト認ムル事項アルトキハ記載スヘシ)

號 七

卅五

第

	合計
	二十
	十九
	十八
	十七
	十六
	十五
	十四
	十三
	十二
	十一
	十
	九
	八
	七
	六
	五
	四
	三
	二
	一
何某	姓名

點數記載用紙 但美濃紙

立會人

何某印
何某印
何某印

投票所管理者

何某印

（九）投票所管理者ハ此投票明細書ヲ作り之ヲ朗讀シタル上
立會人ト共ニ署名捺印シタリ
何年月日

卅四

何府縣第何區衆議院議員選舉投票點數記載用紙

合計	二十	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一	姓名
																					何某

選舉明細書式

何府(縣)第何選舉區ノ選舉明細書

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

何年何月何日
行選舉執

第八號

(一)選舉長タル郡長(市區)長何某(又ハ代理何某)ハ何年何月何日各投票所ノ投票函到着シタルニ付其翌何日(本日)衆議院議員何名ノ選舉ノ爲メ選舉管理ノ何郡役所(市役所)區役所ニ於テ午前何時ニ選舉會ヲ開キ各投票所ヨリ參會シタル立會人ヲシテ抽籤セシメ左ノ何名ヲ選舉委員ニ定メタリ

何郡(市)番地

何 某

同

何 某

同

何 某

(二)選舉長ハ左ノ何名ヲ書記ニ命ジタリ

何 某

何 某

何 某

(三)選舉長ハ選舉委員立會ノ上到着順序ニ依リ各投票函ヲ
順次ニ開キ封緘ノ儘投票ヲ取出シテ投票ノ總數ト投票

人ノ總數トヲ計算シタルニ

投票總數 幾 何

投票人總數 幾 何

投票總數ト投票人ノ總數ト符合セリ

投票ノ總數ト投票人ノ總數ト符合セス即投票ノ總數ハ

投票人ノ總數ト幾何多ク又ハ幾何少シ其由ハ左ノ如シ

(四)選舉長ハ投票ヲ開披點檢シテ逐一之ヲ選舉委員ニ交付

シ選舉委員ハ之ヲ點檢シテ先ツ選舉人ノ姓名ヲ朗讀シ

次ニ被選人ノ姓名ヲ朗讀シタリ

(五)書記何名ハ投票ヲ得タル各被選人ノ得點ヲ點數簿ニ記

ス且其一人ニ於テ各被選人ノ得點ヲ記入スル毎ニ其

得點數ヲ呼ヒ他ノ書記ト共ニ其點數ヲ校合シタリ

(六) 選舉長ハ選舉委員ノ意見ヲ聞キ左ノ投票ハ無効ト決定セリ

四十

一
二
三
四
五

合計無効選舉幾何

右無効ト決定シタル投票ハ悉皆抹線ヲ加ヘタリ

(七) 被選人投票ノ得點數ハ左ノ如シ

得點	幾	干	何	某
得點	幾	干	何	某
得點	幾	干	何	某

得點 幾 干 何 某

故ニ何某最多數ノ得點者タルヲ以テ當選人トス

(八) 右當選人ノ姓名及投票ノ數ハ選舉法第五十九條ニ依リ

選舉長ヨリ直ニ本府(縣)知事ニ届出テタリ

(九) 午後何時投票ノ點檢ヲ終リ選舉長ハ各被選人ノ得點總

計ヲ朗讀シ有効無効ノ投票ヲ區別シ册々ニ之ヲ封印シ

テ何郡役所(市役所)(區役所)ニ之ヲ保存セリ

(十) 此明細書ハ選舉長之ヲ朗讀シ立會人及書記ト共ニ署名

捺印シタリ

選舉長

何 某 印

年 月 日

選舉委員

四十一

何某印

何某印

何某印

何某印

何某印

何某印

何某印

何某印

何某印

何某印

何某印

何某印

甲第九號 二月十日 郡町村區

明治廿二年五月甲第三十三號徵兵事務取扱手續第九條但書
ヲ削除シ左ノ三項ヲ追加ス

町村長ニ於テ徵兵規程第二十二條ノ屆書ヲ受理シタル
トキ住所及氏名ニ關スル異動ハ郡長ニ報告スヘシ
前二項ノ屆書ヲ受理シタル區長又同報告ヲ受理シタル
郡長ハ之ヲ取纏メ翌月七日迄ニ當廳へ報告スヘシ
前諸項報告書ニハ年度兵種番号等ヲ記載スヘシ
右相達ス

甲第拾號 二十五日 郡區 (本年甲第三十八號ヲ以テ改正)
甲第拾壹號 二十八日 郡町村區 署
甲第拾貳號 二十八日 郡町村區
陸海軍現役兵志願兵ニ徵集スル各兵ノ身幹ハ左ノ區別ニ

從ヒ選定可相成儀ト心得ヘシ

陸軍

砲兵工兵

五尺四寸以上

歩兵騎兵輜重兵

五尺二寸以上

輜重輪卒

五尺一寸以上

職工

五尺以上

警備隊ノ歩兵砲兵ハ以上ノ定尺ヨリ各二寸以内減縮ス

ルコトヲ得

海軍

水兵火夫看病夫

五尺三寸以上

木工鍛冶厨夫

五尺二寸以上

右相達ス

甲第拾三號

三月六日

郡、町村、區

畧

甲第拾四號

三月七日

區 畧

甲第拾五號

三月七日

郡 畧

甲第拾六號

三月二十日

郡、町村

衆議院議員撰學法第三十二條ニ依リ數町村ヲ合併一ノ投票區域トナシタルトキハ其名簿ハ法第十八條ニ依リ投票所管理ノ町村長ニ於テ調製スヘキニ付右名簿ノ材料ニ供スル諸般ノ調査ハ管理者ヨリ區域内各町村長ニ照會シ又各町村長ニ於テハ之ニ相應シ照會ノ期日内ニ調へ出テ了シ且名簿調製方ニ付便宜補助スヘシ

右相達ス

甲第拾七號 廿三日

郡區

徵兵令第十一條第三項ニ依リ六週間陸軍現役ニ服スル者
 ノ取扱方被定候ニ付左ノ書式ニ依リ取調且徵兵事務條例
 施行細則第一様式ノ壯丁名簿ヲ作り毎年四月十五日迄ニ
 當廳へ差出ス可シ
 右相達ス

身 幹 尺 度	卒業證書ヲ受 ケシ年月日并 學校名	教職トナリシ 年月日并ニ在 職學校名	住 所	族 籍	氏 名

一 氏名ノ左傍ニ誕生年月日ヲ記入スヘシ
 一 寄留者ナルルハ本籍地ト寄留地ト住所欄内ニ併記ス
 ヘシ

甲第十八號 三月六日 那

明治二十三年四月一日以降國庫ノ歳入ニシテ當府ニ於テ
 收納スヘキ租稅外諸收入取扱順序ヲ定ムル左ノ如シ

(參看本年甲第三十三號)

第一條 郡長警察署長收稅部出張所長ハ各其取扱事務ニ
 係ルモノ及本廳各主務課ヨリ通牒スル處ノ諸收入ヲ調
 定シ明治廿二年大藏省訓令第六十六號ニ準シ納入告知
 書 當府所管ニ係ルモノハ書式中(主管廳)ノ位置ニ(京都府)
 ト記入シ各省所管ニ係ルモノハ(某省所管)京都府ト記
 入シテ發シ各納人ヲシテ現金ヲ收入官吏又ハ金庫ニ納
 付セシムヘシ

但現金ヲ收入官吏ニ即納セシムル場合ハ納入告知書
 ヲ發セサルモ妨ゲナシ

調定濟額ハ調定簿ヲ備ヘ之ニ登記スヘシ

第二條 當府ニ於テ收納スヘキ諸收入ノ科目ハ概テ別表ノ如シ

第三條 第一條ニヨリ諸收入ヲ調定シタルトキハ納入告知書ヲ發シタルモノト發セサルモノトノ區分ヲナシ毎半ヶ月分調定濟報告書ヲ調製シ毎月十六日翌月一日ニ本廳ヘ送付スヘシ

第四條 納入告知書ハ收入官吏ニ送付シ收入官吏ニ送付シ收入官吏ヲシテ納入ニ交付セシムヘシ

第五條 諸收入過誤納アルトキハ計算書ヲ調製シ下戻方ヲ請求スヘシ

第六條 收入官吏取扱ニ係ル事項ハ明治二十二年大藏省

訓令第六十六號諸收入收納順序第八條ヨリ第十二條迄ノ手續キニ據ルヘシ

第七條 收入官吏ノ毎月收入報告書ニハ左ノ書類ヲ添ヘ
翌月五日マテニ本廳ヘ送付スヘシ

第一 納入告知ノ金額納期日細別表

第二 收入金月計對照表

第三 欲損金明細書

第四 納期日後未納收入事由明細書

右ノ外本廳ニ於テ必要ト認ムルモノハ本府會計課ノ要求ニ據リ其都度差出スヘシ

第八條 收入官吏ノ計算書ハ左ノ期限ニヨリ本廳ヘ送付

スヘシ
十三年

現金出納計算書
 現金出納計算書
 年度經過后壹ヶ月以内
 毎年度事務ノ計算書
 年度經過后五ヶ月以内
 第九條 前各條ノ取扱ニ係ル納入告知書拂込書領收證書
 諸帳簿計算書報告書納入告知書ノ金額納期日細別表納
 期日後未納收入事由明細書欲損金明細書等ハ別紙第壹
 號ヨリ第十一號迄ノ様式ニ據リ所管廳毎ニ區分スルモ
 ノトス
 右相達ス

當府及各省所管歲入科目表

當府所管經常歲入	款	項	目
免許及手数料	手数料	訴訟用印紙料	

官業及官有財産收入	官有物貸下料	地所貸下料	土地臺帳謄本手数料
雜收入	懲罰及沒收金	罰	
	沒收金	沒收金	
	辨償金	毀損紛失物品辨償金	
		訴訟入費償却金	
		違約金	
		國稅滯納處	
		分費辨納金	
		雜入	返納金

當府所管臨時歲入	官有物拂下代	地所拂下代	地所拂下代
	雜收入	辨償金	物品拂下代
	雜收入	雜收入	物品拂下代
內務省所管經常歲入	免許及手數料	手數料	藥劑師免狀手數料
			醫師開業免狀手數料
			諸收入集計差金
			租稅集計差金
			警察官吏拾得金
			官地私用辨償金
			誤伐擅伐木辨償金
			盜難品賠償金
			物品拂下代
			建物拂下代
			建物拂下代
			地所拂下代

文部省所管經常歲入	免許及手數料	手數料	檢定手數料	教科用圖書
				學校教員學力
				試驗手數料
				學校教員免許
				狀授與手數料
				米商會所仲
				買式取引所仲
				株式取引所仲
				買人認許料
				有鑛質坑區稅
				無鑛質坑區稅
				獸醫免狀手數料
				手數料
				懲罰及沒收金
				沒收金
				罰金及料
				雜收入
農商務省所管經常歲入	免許及手數料	免許料		
司法省所管經常歲入	雜收入			

「某廳」主管、何年度(經常)歲入
(臨時)歲入

〔何々(目)〕

何第何號

何年何月何日調定

何年何月十六日報告濟 住 所

納入告
知書
割印

一金何程 (主任) 檢印

何年何月何日發行
何年何月何日納(即日納)

納人 氏 名

但「印紙額面何程賣下」「土地臺帳謄本何葉」(醫師開業
免狀)(何々)手数料ノ分

何第何號

全月何日調定

一金何程 (全)

全

全

全

全

上全

但「何年何月何日許可何地何程何年何月何日ヨリ向何ケ
月季貸下料(銀鑛借區稅)年額何程ノ内本(年)季貸下ニシ
口李貸下料(銀鑛借區稅)年分全全全全全全(年)季貸下ニシ
帳シキ(記)何地何年何月ヨリ向何ケ年季貸下ノ内何年迄
本年分

何第何號

全月何日調定

一金何程 (全)

全

全

全

全

上全

但「何年何月何日許可何地何程(何地)ノ立木、竹、枯、倒、木障
木、竹、拂下」「枝葉、下草、柴、葎、蒲、真、菰、柿、桑葉、何々貫束、
得遺失沒收何品、何々沒收何品拂下」ノ分

全月何日調定

一金何程 (全)

何年何月一日報告濟 全

全

全

廿三年

五十五

但何所某拾得漂流何品公賣代價何程ノ半額三分二官沒
ノ分

全月何日調定 全

一金何程 全

何警察署處分

但「何所某拾得棄權」「何所郵便局回送郵便投書函投入金」
「何廳回送何所拾置金警部(巡查)某(拾得金)(賊追捕途中拾
去リ金」「何々金何々ニ據リ」沒收ノ分

何第何號

全月何日調定

全

住所

一金何程 全

納入告知書第何號
何年何月何日發行

納入氏名

但「何々ニ係ル訴訟入費印紙何程日當何々度何々何程償
却」「煙草稅則第何條違犯ニヨリ證約金ノ内沒收」「何々

全上

金何々ニ據リ誤拂ニ属シ返納「何々金何々對スル辨償
ノ分

全月何日調定

全

全

一金何程 全

全

但「何年度后 半季(第何期)何稅滯納(何府縣囑托)督促令狀手
數料」「何年度后 半季(第何期)何稅滯納處分ニ係ル(何府縣
囑托)通信費、何々費」ノ分

計金何程 全

何年何月分

何月迄累計金何程 全

(ニヶ月目ヨリ計金ノ次位ニ
此累計ヲ設クルモノトス)

準備者

一調定線ハ此書式ニ據テ各主管廳毎ニ經常臨時ヲ區

分シ目毎ニ坐テ設ケ記入スルモノトス
②書式中調定月日ノ肩ニ番符号ヲ朱記スルハ本廳各
主務課ヨリ通牒シタル處ノ番符号ヲ記スルモノト
ス

③本簿ハ壹ケ年度毎ニ改ム

④本簿ノ用紙ハ美濃紙ヲ用ユ

⑤(用紙半紙野)

本廳(某省)主管何年度經常歲入調定濟報告

⑥納入告知書

一金何程

「何々(目)」

但「印紙額面何程賣捌人某へ拂下」「土地臺帳謄本住所氏
名講求ノ分」(壹名又ハ壹種)類毎ニ分記ス

(式書號貳第)⑦

⑧納入告知書

一金何程

「何々(目)」

但「庶務課通知官

甲乙

第何號

此番符號ハ通知書中
拜借人ノ上ニ朱記ス
ル處ノ番符號ヲ記ス

「某課通知何第何

號

此番符號ハ主務課
ヨリ通知スル處ノ
往復番符號ヲ用ユ

分

⑨現金

一金何程

「何々(目)」

但「住所氏名拾得棄權」「何地郵便局回送郵便投書函投
入金」「警察官吏某賊追捕ノ際捨去リ何所ニ拾置金何所
某ヨリ回送金沒收ノ分」(壹名又ハ壹種)類毎ニ分記ス

⑩現金、納付書

一金何程

「何々(目)」

廿三年

但「何年度(前半季)」「第何期」何稅滯納(何府縣屬托)ニ係ル督
促令狀手數料「何年度(前半季)」「第何期」何稅滯納(何府縣屬
托)ニ係ル何費「住所氏名納ノ分」(壹名又ハ壹種)
右收納額調定候付何地支金庫へ納入爲取扱候條此段報告
仕候也

年 月 日

何(所) (署) 長官 氏 名 印

府知事宛

本廳(某省)主管何年度臨時歲入調定濟報告

④ 納入告知書

一金何程

「何々(目)」

但「某課通知何第何號」(此番符號ハ主務課ヨリ通知スル處ノ往復番符號ヲ用ユ)「枯(倒木)本住所氏名へ
拂下」「漂流何品某拾得ノ分住所氏名へ拂下代價何程ノ

半額(三分二)「得遺失何品(何犯)ニ係ル沒收何品(住所氏名
へ拂下)ノ分」(壹名又ハ一種)
類毎ニ分記ス)

⑤ 現金

一金何程

「何々(目)」

但「警部(巡查)某拾得ノ分」(壹名毎ニ分記ス)
右(以下)經常ノ文ニ全シ)

廿三年

④(第六號書式)

何々(款) 何々(項) 何々(目)

1.

年月日	要 摘	調定濟額		收入濟額		收入未濟額		備 考		
		円	錢	円	錢	円	錢	不納欠損額	円	錢

(備 考)

一 收入官吏ノ收入簿ハ此様式ニ據ル

二 調定濟額ノ欄ハ總テ收入スヘキ額ノ確定シタルトキニ登記ス

三 收入濟額ノ欄ハ金庫ヨリ納入ニ交付シタル領收證ヲ檢印シタルトキ及現金ニテ收入シタルトキニ登記ス

四 收入未濟額ノ欄ハ調定濟額ト收入濟額トノ差引ヲ登記ス

五 備者トシテ掲クヘキ不納欠損額ハ收入事務整理ノ爲メ收入官吏ニ於テ備ヘタル帳簿ヨリ掲クルモノトス

六 前各項ニ對スル記帳方本年三月大藏省訓令第貳拾八號ノ様式ニ據ル

七 收入簿ノ詳細ヲ明ニスル爲メ要スル處ノ補助簿ハ各廳ニ於テ適宜取設其様式ヲ報告スヘシ

六十三

何々(款) 何々(項) 何々(目) 2.

年月日	要 摘	調定濟額		收入濟額		收入未濟額		備 考		
		円	錢	円	錢	円	錢	不納欠損額	円	錢

六十二

廿三年 經常(臨時)歳入
收入報告書

収入未済額			備 考		
			不納欠損額		
円	錢	厘	円	錢	厘
63,800	00	0	15,000	00	0
0			0		
0			0		
63,800	00	0	15,000	00	0

前月拂込済 0
 本月分収入済額 6,700,000
 合計 6,700,000
 本月中領收證檢定 } 6,200,000
 及現金拂込高 }
 差引翌月へ越 500,000

④備考

一 収入官吏ノ收入報告書ハ此様式ニ據ル
 二 備考欄内ニ不納欠損額ヲ掲ケタルハ調定
 員額ヲ掲ケ對シ不納ノ處分ヲナシタル
 アラス 員額ヲ掲ケ收入未済額ヨリ扣除スルニ
 三 收入官吏現金ヲ領收シタル場合ニ於テ
 現金出納ノ景況ヲ示ス爲メ備考ノ欄ニ
 ハ式ノ如ク計算ヲ示スモノトス
 此報告書ハ本廳及各省等各主管廳毎ニ
 製スヘシ 區分シ各々別紙ヲ以テ調

諸收入 明治何年度 收入簿 何所 收入官吏

廿三年 經常(臨時)歳入
納入告知書ノ金額納期日細別表

發行年月日	摘・要	納期日	金額		
			円	錢	厘
明治廿何年		明治廿何年			

㊦(式書號七第) 某年度
何廳 何年 何月 分

科 目	調 定 濟 額				收 入 濟 額				
	款	項	目	前月迄累計	本 月 分		前月迄累計	本 月 分	
				円 錢 厘	円	錢 厘	円 錢 厘	円	錢 厘
何々	何々	何々	0	70.000	00.0	0	6.700	000	
		何々	0			0		0	
何々	何々	何々	0			0		0	
		合計	0	70.0000	00.0	0	6.700000		

明治 年 月 日
收入 吏官氏名 印

㊦(式書號八第)

某年度

何廳

何年何月分

發行年月日	摘要	納期日	金額	
			圓	錢
明治廿何年 何月何日	納ノ告知書第何號	明治廿何年 何月何日	155	00
” 何日	—” —第何號ヨリ何號迄	” 何日	2,560	50
” 何日	—” —第何號第何號	何月何日	25	00
	何月中發行高		2,740	50
	明治廿何年 收入官吏	何月何日 官氏名		

備考
此細別表ハ本廳及各省主管廳
毎ニ經常及臨時ニ區分シ各々
別紙ヲ以テ調製スヘシ

㊦(第三號書式)

用紙適宜 縱四寸五分ノモノ貳枚
横三寸三分

縱四寸五分ノモノ壹枚接續
横二寸

第何號 明治廿何年	何那何村 何何 某納	㊦(收入官吏)官氏名 某省所管 某府
		一金額何程

但何年何月ヨリ何月迄何々貸下又ハ何々
(排下ト云カ如ク收入金ノ目的ヲ記ス)

㊦割簿調
印卜定

廿三年

右廿何年何月何日限リ何地金庫へ納付スヘシ

京都府何署長

明治廿何年何月何日

納入告知書發行者官氏名

印

金庫
割印

第何號 明治廿何年度

何郡何村

何

某

納

(收入官吏) 官氏 名 扱

(某省所管)

都

府

收入官

吏檢印

一金何程

金庫取
扱主任
印

但(收入金ノ目的ヲ記入スルコト前葉ニ同シ)

右領收候也

明治廿何年何月何日

何々金庫

印

金庫
割印

第何號 明治廿何年度

何郡何村

何

某

納

(經常臨時) 何々(款)

何々(項)

何々(目)

(收入官吏) 官氏 名 扱

(某省所管)

都

府

一金何程

收入官
吏檢印

明治廿何年何月何日何々金庫へ納入

備考 収入官吏ヨリ納入へ傳達スル處ノ納入告知書此書式ニ據ル
領收證及別符共納入ノ金額收入ノ年度種類共納入告知書發行
ノ應ニ於テ記入スルモノトス

第四號書式

備考 金額ノ記入シタル印紙切手類又ハ金額記入セサルモ定額アル
切符類ヲ以テ現金ヲ收入スル場合ニ於テハ其印紙切手切符類
ヲ以テ會計規則第廿五條ノ領收證ニ代用ス

用紙適宜 縱四寸五分 横三寸三分 貳枚接綴

第何號 明治廿何年度 何那何村 氏名納

非常(臨時)何々(款) 何々(項) 何々(目)

一金何程

明治廿何年何月何日領收

收入官吏檢印

收入官吏檢印

第何號 明治廿何年度 何那何村 氏名納

④經常(臨時)	④何々(款)	④何々(項)	④何々(目)
一金④何程			
右領收候也			
京都府何署收入官 ④氏名 明治廿何年何月何日			
印			

④會計規則第廿五條ニ據リ交付スヘキ領收證ハ此書式ニ據ル
 ④(第五號書式)
 用紙適宜 縱四寸五分 ノモノ貳枚 横三寸三分
 縱四寸五分 ノモノ壹枚接續 横二寸

④經常(臨時)	④何々(款)	④何々(項)	④何々(目)
一金④何程			
但④何々			
右拂込候也			
京都府何署收入官 ④氏名 明治廿何年何月何日			
印			

④金庫

第何號	割印	
	明治廿何年度	(某省所管) 京都府
(常時) 何々(款)	何々(項)	何々(目) 拂込人(收入官) 氏名
一金		監督官 吏檢印
但何々		金庫取 扱主任 印
右領收候也		
明治廿何年何月何日		
何何地金庫 印		

第何號	割印	
	明治廿何年度	(某省所管) 京都府
(常時) 何々(款)	何々(項)	何々(目) 收入官 氏名
一金		監督官 吏檢印
明治廿何年何月何日何地金庫へ拂込		

備考 收入官吏ヨリ現金ヲ金庫へ拂込ニ用エル拂込書ハ此書式ニ據ル領收證及別符共拂込ノ金額收入ノ年度種類共收入官吏ニ於テ記入スルモノトス

第九號書式

七十八

本廳(某省)主管何年度(經常)歲入納期日後未納收入
事由明細書

一金何程

「何々(目)」

納入告知書第何號

何年何月何日發行
何月何日納期

住所

納人 氏 名

但何所(署)長調定濟何々金ニ對スル納人告知書該納人へ
交付致置候處何々處分方詮議別紙ノ通何々ノ事由申立
納期日內完納致兼何年何月何日納濟專ヲ督促中ニ付納
期日_內未納ニ屬シ候分(壹)事項毎ニ分記ス
右之通相違無之候也

年 月 日

何所(署)收入官吏官 氏 名 (印)

府知事宛

(第九拾號書式)

本廳(某省)主管何年度歲入缺損金明細書

一金何程

「何々(目)」

住所

氏 名 納ノ分

但何所(署)長調定何々金何々ノ事由ニ據テ取調ノ末「缺損
處分濟」納入告知書取消(某課通知)ニ付不納ニ屬シ候分
右之通相違無之候也

年 月 日

何所(署)收入官吏官 氏 名 (印)

府知事宛

廿三年

七十九

印

④(第拾壹號書式)

本廳(某省)主管何年度(經常)歲入下辰計算書

一金何程

「何々(目)」

但何年何月何日何第何號ニ付調定濟報告書中何々金何程何處某納ノ分全人納付書第何號(納入告知書第何號)收入官氏名拂込書第何號ヲ以テ何支金庫へ何年何月何日納濟ノ内何程ノ分何々ノ事由ニ據リ過(誤)納ニ属シ候付該納人へ還付可相成分別紙請求書之通

右過(誤)納金員御拂戻有之度候也

年 月 日

何 所 署 長 官 氏 名

印

府知事宛

甲第拾九號 四月 一日 郡

本年四月一日ヨリ諸貸付金徴收ノ方法ハ本年三月廿六日本府甲第十八號租稅外諸收入取扱順序ニ據リ臨時部(雜收入)款返納金ノ項(舊藩貸勸業貸繰替貸雜種貸ノ目)ヲ設置シ納付方取扱フヘシ
但從前之諸貸付金徴收取扱順序ハ本年三月三十一日限廢止ス

右相達ス

甲第貳拾號 四月 四日 區、郡、町村

明治十七年三月第七号布告地租條例第三條有租地地目ニ包含スル現地ノ山林中ノ敷林雜種地ノ中名稱ハ其役所役場備置ノ土地臺帳地番号ノ下へ朱字ヲ以テ附起シ地租ニ關スル願届書ニモ之ヲ記サシム

廿三年

右相達ス
 甲第貳拾壹號 四月 郡、町村區 零
 甲第貳拾貳號 四月 郡、區 零
 甲第貳拾參號 五月 郡、町村區
 三等郵便局長選舉之儀ニ付客年三月甲第十一號ヲ以テ相
 達候書式別紙之通改正ス
 右相達ス

(別紙)

三等郵便電信局長、全郵便局長、郵便受取所、郵便貯金預
 財產調書所取扱人及身元引請人又ハ保証人ヨリ差出サシムル財產
 調書及財產滅却ノ節トモ本文ニ同シ

京都府下何國何郡何町字何

第何番戶住

又ハ京都市上京區何町通上ル下ル何町
 東入西入
 戶主(又ハ戶主某)
 長次男)族

何

某

年号月日生

一田(畑)宅地(何町何反何畝何步)

質入書入等ノ有
無ヲ明記スベシ

地價金何百圓

賣買價格何百圓

一山林(原野)全上

全上

全

全

一建家何棟

全上

賣買價格何百圓

廿三年

八十三

右私所有ニ相違無之候也

八十四

年 月 日

右

何 某 印

注意 田畑宅地山林原野及建家等何ノモ數筆
アルルハ各種別毎ニ合計ヲ記載スベシ
前書ノ通相違無之候也

京都府下何國何郡何村長

又ハ京都市上京區長

年 月 日

何 某 印

甲第貳拾四號 五月九日 郡、町村、區
充員召集又ハ後備召集若クハ演習召集ニ當リ召集セサル
者區長町村長ニ於テ令狀取扱方左ノ通相心得ヘシ
右相違ス

一 明治二十年 四月 本府甲第五十六號第一項ノ届出ニ據リ區
長町村長ニ於テ召集セラレサルトテ豫メ知得シ居ル場

合ニ在テハ令狀ヲ發セス監視區長ヘ報告スヘシ

一 前同第二項ノ場合ニ在テハ令狀ヲ發シ尙ホ條例第四十

三條ノ届書ヲ差出サシムヘシ

甲第貳拾五號 五月廿八日 町村 畧

甲第貳拾六號 五月廿六日 郡、町村、區 畧

甲第貳拾七號 五月十三日 郡、町村、區

豫備後備下士兵卒並ニ歸休兵臨時召集ノ途中旅費欠乏ノ
者有之節金員繰替ノ儀左ノ手續ニ據リ取計フヘシ

但明治二十年 六月 甲第七十二号達ヲ廢ス

一 豫備後備下士兵卒並ニ歸休兵臨時召集ノ途中ニ於テ疾

廿三年

八十五

病若クハ川支等ニテ旅費欠乏シ指定ノ地ニ到リ難キ者
アルトキハ其地ノ町村役場又ハ郡區役所ニ於テ本年勅
令第六十七號第三十七表旅費日當ヲ其日數ニ應シ繰替
速ニ發途セシムヘシ

一前項ノ金員ヲ繰替タル時ハ町村長又ハ郡市區長ハ其人
名及ヒ金員ヲ詳記シ之ヲ本人所轄ノ大隊區司令部ニ送
附シ同部ヨリ返償ヲ受クヘシ

但本文近衛ニ係ル繰替金ハ近衛司令部ヨリ當廳ヲ經
テ返償スヘシ

右相達ス

甲第貳拾八號 六月廿一日 郡區、町村、

明治十四年七月當廳乙第三十七號達中第九十七條ヲ削除ス

(十四年乙第三十七号郡長委任條件)

右相達ス

甲第貳拾九號 六月廿一日 郡、町村、區 署

甲第三拾號 七月四日 郡 署

甲第三拾壹號 七月五日 郡、町村、區 署

甲第三拾貳號 七月十四日 丹波國郡、同町村 署

甲第三拾三號 七月廿八日 郡 署

本年三月甲第十八號達第一條中本廳各主務課ヨリ通牒ス
ルモノ、中官有地貸渡及物品年期拂下等ノ如キハ許可ノ
當時主務課ノ通知書ニヨリ料金調定シ明治十九年九月府
令第十二號達ニヨリ徵收スヘシ

右相達ス

廿三年

甲第三拾四號 廿九日 郡

八十八

會計法第十五條ニ據リ各郡長ハ現金前渡ヲ爲スニ付其取扱規則別冊之通相定ム
但郡衙所在地居住ノ者ハ従前ノ通トス
右相達ス

(別冊)

徵兵旅費棄兒養育費窮民救助費取扱規則

第一條 徵兵檢丁及入營旅費棄兒養育費窮民救助費ハ其郡度第一號甲乙書式ノ請求書ヲ以テ現金前渡ヲ仕拂命令官ニ請求スヘシ
第二條 仕拂命令官ハ前條ノ請求ニ對シ仕拂命令ヲ發シ會計主務官ハ規定ノ領收証書ヲ郡長ニ送付ス

第三條 郡長ハ會計主務官ヨリ規定ノ領收証書ヲ得ルハ第二號書式ニ示ス如ク年月日ヲ記入シ署名捺印ノ上金庫ニ交付シ現金ヲ受取ルヘシ

第四條 郡長ハ第三條ニヨリ現金ヲ受取タルハ速ニ各自ヘ支給スヘシ

第五條 郡長ハ第三號書式ノ現金出納簿第四號書式ノ現金出納内譯簿ヲ設ケ出納ヲ登記スヘシ

第六條 徵兵旅費棄兒養育費窮民救助費ハ交互現金ヲ流用支給スルヲ得ズ

第七條 郡長ハ受取金ヲ各自ヘ仕拂濟ノ後殘金アルハ徵兵旅費ハ其郡度棄兒養育費窮民救助費ハ年度尾ニ第五號書式ニヨリ各自毎ニ區分シ其返納方ヲ仕拂命令官ニ

廿三年

八十九

第八條 仕拂命令官ハ前條ノ殘金ニ對シ返納告知書ヲ發
 ス郡長ハ其告知書ニ現金ヲ添ヘ指定ノ金庫ヘ納付シ金
 庫ノ別符付領收証ヲ得テ直ニ別符ノ切離領收証ノ檢印
 ナ仕拂命令官ニ請求スベシ
 但云々(本年甲第六十号ヲ以テ刪除)

第九條 受取金ハ翌月十日以内ニ別紙第六號書式ニヨリ
 仕拂計算書ヲ調製シ証憑書類ヲ添ヘ仕拂命令官ニ送付
 スヘシ

但一ヶ月内ニ精算完了シ其月内ニ更ニ受取金ナキ場
 合ニ於テハ其完了ノ日ヨリ十日以内ニ本文同様ノ手
 續ヲ爲スベシ

第十條 証憑書類ハ左ノ如シ

領收証書

是ハ第七號書式ニヨリ正當受取人或ハ正當代理人ヨ
 リ徴スルモノトス

任譯書

是ハ第八號甲乙丙丁書式ニヨリ郡長ニ於テ調製シ領
 收証書ヲ添付スルモノトス

説明書

是ハ領收証書任譯書記載ノ外説明セザレハ事由判明
 セサルモノアルトキ第九號書式ニヨリ郡長ニ於テ調
 製添付スルモノトス

第十一條 証憑書類ハ左ノ科目表ニヨリ目毎ニ區分裝釘

シ其表紙ニ科目金額枚數ヲ表記スベシ

第十二條 任拂計算書ハ改描塗抹ヲ禁ス又提出ノ後修正					第六款 府 縣	款	科目表
						項	
				第二項 徵兵費			
			第三項 恩賞及救助費				
		第十三項 雜給	第三目 救助費	第十一目 內國旅費			目
			第四目 養育費				

變更スルヲ得ス

第壹號書式甲

(△印ハ執モ朱書)

徵兵檢丁(入營)旅費現金前渡請求書

一金
内譯

里程	滞在日數	漕車賃實費	漕船賃實費	宿泊料	人員	一人金額	小計

右現金前渡有之度此段請求候也

明治何年何月何日

某郡長 姓

名

廿三年

府知事宛

△備考檢丁、入營別紙ニ區分シ且支給事項ノ異ナル毎ニ一區ヲ設ケ掲載スベシ又備考ヲ用ヒザレハ事由ノ判明シ難キモノハ其次詳ニ詳記スベシ棄兒養育費、窮民救助費モ此ノ例ニ準ス

第壹號書式乙

(△印ハ孰モ朱書)

一金何程

棄兒養育費(窮民救助費)現金前渡請求書

内譯

(山城各郡ハ京都市前月中ノ相場又丹波丹後各郡ハ該地前々月中ノ相場ヲ用ユ)

支給月及日數	給與米額	何月中一石當リ下米平均相場	人員	一人金額	小計

右現金前渡有之度此段請求候也

明治何年何月何日

某郡長 姓

名

印

府知事宛

△次期以下殘金アルハ請求書ノ冒頭ハ左ノ如ク記スベシ

一金何程

内

金何程

前期殘金

廿三年

九十五

金何程

内譯

「第貳號書式」

今回請求高

九十六

(「」内ハ孰レモ朱書)

會計主務官割印		領	收	証	書
第何號		第何號	某年度仕捕命令何號	一金何程	右領収候也
何府縣下何地		受取人	會主官印務計	明治何年何月何日	受取人
某郡長 姓 名				何地金庫宛	「某郡長 姓 名 印」

全裏面

此ノ領收証書用紙ハ會計主務官ニ於テ調製
 シ受取人ニ交付スベシ
 受取人ニ於テ金庫ヨリ現金領收ノ際表面ヘ
 其年月日ヲ記入シ署名捺印シテ之ヲ金庫ニ
 交付スヘシ

廿三年

九十七

廿三年

現金出納簿

「第三號書式」

九十九

某郡役所

年月日	摘要	受			拂			残		
		円	銭	厘	円	銭	厘	円	銭	厘
明治廿三年 何	徴兵檢丁旅費何金庫ヨリ受取	100	000	0						
何	窮民救助米代全上受取	50	000	0						
何	棄兒養育米代全上受取	20	000	0				170	000	0
何	徴兵檢丁旅費何某外人渡				90	000	0			
何	窮民救助米代何某外人渡				45	000	0			
何	棄兒養育米代何某外人渡				15	000	0	20	000	0
何	残金何金庫へ戻入				20	000	0			0
	合計	170	000	0	150	000	0			
	返納ノ分合計					20	000			

〔現金出納簿ハ徴兵旅費窮民救助費棄兒養育費ノ
現金出納ヲ登記スルモノニシテ各科目ニ分タズ
出納ノ都度記入スルモノトス〕

（「内ハ就モ朱書」
九十八

廿三年

雜 給 養 育 費

年月日	摘 要	借方		貸方		残	
		円	銭	円	銭	円	銭
何	元受高			20000		20000	
何	何月何日ヨリ何月何日迄ノ分	3000					
何	何某渡	4000					
何	何月ヨリ何月ニ至ル分何某渡	4000					
何	ク何某渡	4000					
何	ク何某渡	4000					
何	殘金戻入但何金庫へ返納	5000				5000	

百一

年月日	摘 要	借方		貸方		残	
		円	銭	円	銭	円	銭

(「」内ハ就レモ朱書)

百

廿三年

徴兵費

内國旅費

年月日	摘要	借方		貸方		残	
		円	銭	厘	円	銭	厘
何	何						
	元受高			100	000	100	000
何	徴兵檢丁何某渡	20	000				
ク	—ク—何某渡	15	000				
ク	—ク—何某渡	15	000				
ク	—ク—何某渡	20	000				
ク	—ク—何某渡	20	000				
何	残金戻入但何金庫へ返納	10	000			10	000
						0	

〔内譯簿ハ各目毎ニ口座ヲ設ケ其出納ヲ詳記スルモノトス〕

百三

恩賞及救助費

救助費

年月日	摘要	借方		貸方		残		
		円	銭	厘	円	銭	厘	
何	何							
	元受高				50	000	50	000
何	何月分何某渡	5	000					
ク	—ク—何某渡	5	000					
ク	何月ヨリ何月迄ノ分何某渡	8	000					
ク	—ク—何某渡	10	000					
ク	—ク—何某渡	10	000					
ク	—ク—何某渡	7	000					
何	残金戻入但何金庫へ返納	5	000				5	000

百二

現金出納内譯簿

某郡役所

「第五號書式」

(「」ノ内ハ朱書)

殘金返納報告書

府縣(款)

徵兵費(項)

内國旅費(目)

明治何年何月何日「此月日ハ規定ノ領收證書ニ記入
セシ月日ト全一ノモノヲ掲ク」

受取高金何程
一金何程
仕拂命令第何號
檢丁旅費殘金

外
金何程
仕拂濟

右返納金及報告候也

明治何年何月何日

某郡長 姓名 印

府知事宛

廿三年

百五

廿三年

支出精算高	残高		冊番 憑書號	備 考
	円	銭		
90000	90000	10000		
45000	45000	5000		
15000	15000	500		
150000	20000			

百七

本月中返納済或ハ残高總
テ次期へ繰越或ハ何々

明治何年度何年何月(自何月日至何月日)任
拂計算書面之通相違無之候也

現金前渡ヲ受タル官吏ノ官氏名印

會計検査院長宛

明治何年何月何日

百六

廿三年

明治何年度府縣 (款)

何年何月 (自何月日至何月日)

任 拂 計 算 書

百九

廳 名

「第六號書式」

「此計算書ノ用紙ハ印刷局製機二號紙若クハ其他紙質ノ堅牢ナルモノヲ用ヒ又表紙ハ厚質白西洋紙ヲ用ニハシ」
何年何月何日發送 某 郡 長

元 受 高			目 番 號	摘 要
前月越 高	本月領收 高	計		
円 錢 厘	円 錢 厘	円 錢 厘		
0	100 000	100 000	11	第 二 項 徵 兵 費 內 國 旅 費 第二項合計
0	50 000	50 000	3	第 三 項 恩 賞 及 救 助 費 救 助 費 第三項合計
0	20 000	20 000	4	第 十 三 項 雜 給 養 育 費 第十三項合計
0	170 000	170 000		總 計

百八

〔第七號書式〕用紙ハ半紙半切トス
領收証ハ改描塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲシタルハ朱記ヲ以テ本人ヲシテ之ニ捺印セシメ置クヘシ

(△印ハ朱)

一金何程 証

窮民救助(棄兒養育)費

但何々(算出シ得ク)ノ事項ヲ掲クル

或ハ

檢丁(入營)旅費

右領收候也

何郡何町村字何番戸

明治何年何月何日

受取人

何之

誰印

証第 號

〔第八號書式甲〕

某郡長何之誰宛

徴兵檢丁旅費任譯書

一金何程
内譯

証書號	郡	町村大字 (徴兵署)	檢査所 居所 着	檢査所(徴兵署) 發着	往復里程	在宿泊場所金 〇円	員名	稱人	名

右之通有之候也

明治何年何月何日

〔第八號書式乙〕

某郡長

姓名印

廿三年

百十一

現役兵入營旅費任譯書

一金何程

內譯

証書號	居留地名	集地名	入營地名	里行	程哩	費實	費瀝車	貨數	宿泊	料	滞在日當	宿泊場所	金種	兵入	名			
第何號 大何郡町村 字何	何	何	何	十 〇、四 〇〇里	八十四哩	七十一	〇、八五〇	壹	〇、二〇〇	度	〇	何	何	處	一四五〇	何	何	某

居所ヨリ何所マテ徒歩何月何日着全何日全所ヨリ瀝車乗用何所着全何日入營(集合上ノ都合ニヨリ里程ノ割合ニ超過スルモノハ本表中超過日數ノ區ヲ設ケ其旨備考スベシ又數人旅行同一ノモノハ其末尾ニ列記スヘシ)

第何號	何郡町村	何	何	何	〇、三	里	百二十哩	二	〇、二〇〇	〇、四〇〇	〇、二八〇	日	何	處	二〇〇〇	何	何	某
-----	------	---	---	---	-----	---	------	---	-------	-------	-------	---	---	---	------	---	---	---

居所ヨリ何所マテ徒歩全所ヨリ何所マテ瀝車乗用何月何日着全何日全所滞在全何日全所ヨリ瀝車乗用何所着全何日入營

右之通有之候也

明治何年何月何日

某那長 姓名 印

「第八號書式丙」

乘兒養育米代任譯書

一金何程

內譯

証書號	一ヶ年 米額	支給期節	給與米額	何月中一石 當リ下米平石	代金	乘兒名	居住	所養育人
何號何	斗	自何月何日 至何月何日	升	〇	〇	誰	何郡何町村何	何之誰

廿三年

百十三

但何年何月何日拾上ク何日ヨリ支給

百十四

何號何斗何升	何號何石何斗	何號何斗
自何何何月何月何日	自何何何月何月何日	自何何何月何月何日
何升何合	何斗	何升何合
○	○	○
○	○	○
誰	誰	誰
何郡何町村何何之誰	何郡何町村何何之誰	何郡何町村何何之誰

但何年何月棄兒滿十三年ニ付何月限支給廢止

右之通有之候也

明治何年何月何日

某郡長 姓名 印

「第八號書式丁」

△印ハ朱書

窮民恤救米代仕譯書

一金何程

内譯

証書號	何號	何號	何號
一ケ年米額 一日米額	一ケ年 何石	一ケ年 何石	一ケ年 何石
支給期節	自何何何月何月何日	自何何何月何月何日	自何何何月何月何日
給與米額	何石何斗	何石何斗	何石何斗
何月中一石 當リ下米平石 均相場	○	○	○
代金摘要	何々何郡何町村何何之誰	何々何郡何町村何何之誰	何々何郡何町村何何之誰
居住所	何々何郡何町村何何之誰	何々何郡何町村何何之誰	何々何郡何町村何何之誰
人名	何々何郡何町村何何之誰	何々何郡何町村何何之誰	何々何郡何町村何何之誰

但何々ニヨリ何年何月何日ヨリ新クニ救助

何號	何號	何號
一日	一ケ年	一ケ年
自何何何月何月何日	自何何何月何月何日	自何何何月何月何日
何斗何升	何石何斗	何石何斗
○	○	○
何々何郡何町村何何之誰	何々何郡何町村何何之誰	何々何郡何町村何何之誰

但何々ニヨリ何月何日限リ支給廢止

右之通有之候也

明治何年何月何日

某郡長 姓名 印

廿三年

百十五

備考 摘要ノ區ハ恤救名稱等ヲ掲ク
「第九號書式」

說明書

何々(事由ヲ詳記スベシ)
右說明候也

某郡長 姓名 印

甲第三拾五號 八月 上下京區 紀伊 乙訓 綴喜 相樂 北桑田 各郡界

甲第三拾六號 八月 船井 天田 何鹿 中 熊野 加佐 與謝 郡

諸貸付金取扱順序左ノ通相定ム

第一條 諸貸付金ノ返納アルトキハ本年三月本府甲第十
八號達租稅外諸收入取扱順序ニ據リ本廳主管ノ歳入ト
シテ納付スヘシ

第二條 前條返納金ハ臨時部雜收入ノ款中返納金ノ項舊

藩貸勸業貸繰換貸雜種貸ノ目ヲ設置シ其收入濟額ハ一
廉毎ニ記載シタル仕譯書ヲ調製シ收入報告書ニ添付ス
ヘシ

第三條 据置貸(從前雜種貸中還納)ノ返納アルトキハ雜稱
貸へ組換ノ上收納スヘシ

第四條 負債者管下甲郡ヨリ乙郡へ移轉シタルトキハ協
議ノ上引繼受ノ順序ヲナスヘシ

第五條 前條轉入出アルトキ及京都市又ハ他管下へ移轉
シタルトキハ其時々報告スヘシ

第六條 諸貸付金ノ精算報告書ハ左ノ書式ニ據リ調製翌
年度四月五日限差出スヘシ

廿三年

右相達ス

明治何年度諸貸付金精算報告書

舊 滯 貸

一金 四月一日現狀

内

金

何ノ某ニ係ル未納

金

何ノ某ニ係ル未納

一金

増 額

内

金

何ノ某ニ係ル何々編入

金

何ノ某ニ係ル何々

一金

減 額

右相達ス

明治何年度諸貸付金精算報告書

舊 滯 貸

一金 四月一日現狀

内

金

何ノ某ニ係ル未納

金

何ノ某ニ係ル未納

一金

増 額

内

金

何ノ某ニ係ル何々編入

金

何ノ某ニ係ル何々

一金

減 額

内

金

何ノ某ニ係ル返納

金

何ノ某ニ係ル何々

一金

三月三十一日現狀

内

金

何ノ某ニ係ル未納何年ヨリ

金

何ノ某ニ係ル未納何年ヨリ

金

何ノ某ニ係ル未納何々

金

何ノ某ニ係ル未納何々

金

何ノ某ニ係ル未納何々

一金

四月一日現狀

一金

増 額

廿三年

百十九

大隊區徵兵署及檢査所用物品取扱規程

第一條 大隊區徵兵署及ヒ檢査所ニ要スル諸物品ハ開署前必ス需用品品目員數代價等ヲ詳記シタル明細表ヲ調製シ豫メ府知事ノ認可ヲ得テ購入仮借修繕等ノ手續ヲナスモノトス

但需用品品目ハ別表ニ據ル

第二條 諸物品購入仮借修繕等ノ節ハ必ス供給者ヨリ壹號式ノ承諾書ヲ要シ購入物品ハ納人ヨリ貳號式ノ上納書ヲ徵シ追テ代價請求ノ際請求書ニ添付差出スヘシ
第三條 前條物品ノ代價若クハ損料等ハ其供給者ヨリ三號式ノ請求書ヲ差出サシメ之レニ使用ノ個所必要ノ理由等ヲ朱記シ府知事へ請求スヘシ尤モ郡區長ハ別ニ第

四五號式ノ請求書及ヒ領收證ヲ物品會計官吏へ送付スルモノトス

第四條 前條購入ノ物品ハ豫テ六七號式ノ備品現在簿同内譯簿ヲ調製品目數量受取事由等ヲ明記シ置キ毎年三月三十一日現在ノ保管物品(備品ト消耗品ヲ區別シ)ヲ列記シ保證書ヲ府知事へ差出スヘシ

第五條 郡區長ハ大隊區徵兵署及檢査所需用品出納一切ノ責ニ任シ凡ソ貯藏ノ物品ハ之ヲ保管スヘシ但保管ノ物品ヲ故意若シクハ怠惰ニ由リ亡失毀損シタルルハ之ヲ辨償セシム

徵兵署及檢査所用品定數

備品ノ部

費備品費

身幹尺度	壹箇
寢臺蒲團壹枚	壹組
枕壹個	拾箇
テール	三拾箇
椅子	壹箇
火鉢其他付屬品共	貳拾箇
煙草盆	三箇
名刺挿	貳箇
茶盆	七箇
土瓶	貳拾五箇
茶碗	壹箇
水手桶	壹箇
杓	壹箇

手洗桶	壹箇
印判	壹枚
罫版	壹枚
掛札	壹双
屏風	壹双
硯箱	貳拾五箇
小刀	拾本
肉入	拾箇
筆	三拾本
水入	拾箇
糊入	拾箇

見切り等實際場所ノ都合ニヨリ
 欠少ヘカラサル場合ニ限ル
 筆紙墨文具ノ部
 費筆紙墨文具

諸用紙	封筒	消耗品ノ部	費	目	消耗品
		炭	一日分	五貫目	
		茶	一日分	百目	
		糊	全	拾匁	
		石	鹼	壹箇	
		幕	雜品ノ部	費	目
		布		五張	
		手		壹筋	
		水		壹把	

簿

家屋借入料

貳 本

右ノ外備品筆紙墨文具ノ品目ト雖モ仮借セシ借入損料ハ
 雜費ニ編入スヘシ其借入箇數ハ各部ニ示ス極度以內トス
 一各品目ノ數量ハ其極度ヲ示シタルモノナレハ其數量以
 內ニ於テ節約ヲ旨トシ處辨スヘシ

第壹號式

何年何月何日

何處徵兵署又ハ檢査所ニ所用ノ分

一何品 此代價何程

何個

一何品 此代價何程

但一個ニ付

一何品 借入ノ書式

何個

何日間

廿三年

百二十七

此損料何程

但一日一個ニ付

右之通御買上ニ付調達方承諾仕候也

宿所

年月日

何 某 印

宛

承諾書ハ費目一部限リ別記セシムルモ妨ナシ

第貳號式

何處徴兵器又ハ検査所何々用 主任 檢印

上納書

美濃界紙ハ二帖全紙百枚ヲ以テ壹冊トシ半紙ハ同五拾枚ヲ以テ壹冊トス半枚野紙ハ全紙ノ割合ヲ以テ冊數ヲ定ム

一半紙界紙

何冊

此代金何拾錢

但一冊ニ付 何錢ツ、

右上納仕候也

何郡區町村番戶

年月日

何 某 印

府知事宛

上納書ハ一品目毎ニ調製ヲ要ス

第三號式

請求書

何處徴兵器又ハ検査所何々用 主任 檢印

一金何圓何拾錢 印

備品仮借借家料等ハ此書式ニ準シ使用ノ年月日々數一個當リ等記入ス若其不明瞭ナルモノハ主任ニ於テ詳細加書スヘシ

内

金何圓何拾錢

半紙界紙何拾冊

但一冊ニ付 何錢ツ、

廿三年

百二十九

金何圓何拾錢

美濃紙 何帖

百三十

但一帖ニ付 何錢ッ、

右代金御下渡相成度候也

何郡區町村番戶

年 月 日

何 某 ㊦

府知事宛

㊦請求書ハ各費目一部毎ニ區分ヲ要ス

㊦第四號式

請 求 書

一何品

何程

但何處徵兵署又ハ檢査所何々用

右請求候也

年 月 日

何郡區長 何

某 ㊦

京都府物品會計官吏氏名宛

㊦請求書ハ一品目毎ニ調製ヲ要ス

㊦第五號式

證

一何品

何程

但何處徵兵署又ハ檢査所何々用

右正ニ領收候也

年 月 日

何郡區長 何

某 ㊦

京都府物品會計官吏氏名宛

㊦領收證ハ一品目毎ニ調製ヲ要ス

廿三年

百三十一

廿三年

明治 月	明治 月	明治 月	明治 月	明治 月	明治 月	明治 月	明治 月	明治 月	明治 月	明治 月	明治 月
日年	日年	日年	日年	日年	日年	日年	日年	日年	日年	日年	日年

百三十三

明治 月	明治 月	明治 月	明治 月	明治 月	明治 月	明治 月	明治 月	明治 月	明治 月	明治 月	品目 年
日年	日年	日年	日年	日年	日年	日年	日年	日年	日年	日年	月
											越
											高
											受
											高
											合
											計
											返
											納
											差
											引
											現在
											高

第六號式雜形
用紙美濃全紙
現在簿

百三十二

廿三年

百三十五

			品	
			目	
			個	
			數	
			番	
			號	
			受取事由年月日	
			返納事由年月日	

第七號式雛形

用紙半紙

內譯簿

明治	明治	明治	明治	明治
月	月	月	月	月
日	日	日	日	日
年	年	年	年	年

百三十四

甲第三拾九號 九月廿八日 郡 畷
 甲第四拾號 九月二日 郡、町村、區 畷

甲第四拾壹號 九月三日 郡、町村

農商務省令第七號 鐵業ニ關スル出願手續第四條ニヨリ 試掘借區通洞借區外坑道及借區外製煉所建設等ニ係ル願書ヲ農商務大臣ニ差出タル旨 町村役場へ届出アルキハ 町村長ハ圖面ノ正否公益上ノ利害其出願地ニ於テ他ニ坑業ヲ營ムモノ、有無并ニ双方坑區間十間以上ノ距離ノ有無等調査シ意見書ヲ添へ速ニ當廳ニ差出スヘシ

右相違ス

甲第四拾貳號 九月三日 郡、區 畷
 甲第四拾三號 九月六日 郡、町村、區 畷
 甲第四拾四號 九月六日 郡、町村、區 畷
 甲第四拾五號 九月十八日 郡、區

廿三年

明治廿年十一月十一日 本府甲第百七號達ヲ廢止ス

右相達ス(廿年甲第百七號鑛山試掘願出アルル具申ノ件)

甲第四拾六號 十九日 郡

書記及月給雇俸給支給方ハ本年內務省訓令第三十二號判任官支給定日ニ依リ支給スヘシ

右相達ス

甲第四拾七號 十九日 郡 與謝中、竹野ノ 畧

甲第四拾八號 十九日 町村、區

明治二十二年七月七日 當府甲第五十一號達土地臺帳及土地所有者名寄帳ノ異動整理區別中更正刪除スル左ノ如シ

第一項但書中市ハヨリ町村マテ及各郡ノ字ヲ刪除ス

第二項へ左ノ但書ヲ加フ

但一筆內幾分潰地ニ係ル分ハ其員數ヲ除却シ殘地ハ其反別ニ筆以上分裂ニ係ニ等級相當ノ反金ヲ從前等級ノ異如キハ元一筆ノ各反別ヲ以テ乘得ル地價ヨリ地租ヲ求メ其地價ヲ除キ得シ反金ヲ乘得ル地價ヨリ地租ヲ求メ其員額ヲ記載スヘシ

第三項中及ヨリ町村マテ及各郡ノ字ヲ刪除ス

右相達ス

甲第四拾九號 十八日 郡、町村

明治十九年十一月甲第二十三號達中別紙府會議員選舉權調町村費決算調書式並ニ其發送期限ヲ改正シ猶基本財産調書式ヲ追加ス

右相達ス

府會議員選舉被選舉調 明治何年十一月十五日現在 何 郡

廿三年

族	地租五圓以上ヲ納ムルモノ		地租拾圓以上ヲ納ムルモノ	
	選舉權ヲ有スルモノ	選舉權ヲ有セサルモノ	選舉權ヲ有スルモノ	選舉權ヲ有セサルモノ
華族				
士族				
平民				
合計				

一選舉權ヲ有セサル者トハ府縣會規則第十四條ノ資格ハ有セス並ニ同條ノ但書ニ觸ル、者被選舉權ヲ有セサル者トハ同規則第十三條ノ資格ヲ有セス並ニ同條ノ各款ニ觸ル、者ヲ云フ

一地租拾圓以上ヲ納ムル者ノ欄ヘハ地租五圓以上ヲ納ムル者ノ内ニ就キ地租拾圓以上ヲ納ムル者ヲ抽出シテ再

掲スルモノトス

一本表差出期限ハ翌年一月三十一日限リトス

明治何年度何郡町村費決算調

(何郡役所 何郡何町村役場)

支出之部		収入之部	
費目金	額	科目金	額
町役場費		財産ヨリ生スル收入	
會議費		使用料手数料	
土木費		雜收入	
教育費		前年度繰越金	
衛生費		地價割	
救助費		戸數割	

廿三年

災害 備豫 費防	警備 費	勸業 費	諸稅 負擔	公債 費	何々 費	雜 支 出	合計	夫役現品ノ算 出金額ヲ除ク	營業 割	何々特別 稅	夫役	現品	人夫何人 此算出金額何程	何品何程 此算出金額何程

一 町村長ハ其町村費區費並ニ其管理ニ属スル組合町村費
 ノ收支ヲ合算掲表シ郡長ハ之レニ其管理スル組合町村
 費ノ收支ヲ加ヘ郡計表ヲ調製スルモノトス
 一二郡以上ノ町村ニ跨カル組合町村費ノ收支ハ其負擔ノ

割合ニヨリ關係アル郡町村ニ分掲スルモノトス
 一本表差出期限ハ町村長ニ於テ翌年度七月十五日限郡役
 所ヘ郡長ニ於テハ八月五日限リ當廳ヘ發送スヘシ
 但明治二十二年度分ニ限リ便宜取纏メ本年十月三十
 日限リ當廳ヘ發送スヘシ

町村基本財産調 明治何年度末現在 何郡役所

町村 名	土地 價格	建物 價格	穀物 價格	公債 證書 價格	株券 價格	現 金	其他 諸品 價格	合計

總計									
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

一土地建物穀物公債証券株券共其種類ヲ細別スルニ及ハ
 ス各價格ノ總計ヲ見積リ記入スヘシ但山林原野ノ土石
 立木ノ價格ハ土地ニ合算スヘシ
 一本表差出期限ハ明治二十三年度末ヲ第一回トシ爾後五
 年目毎ニ八月五日限リ發送スヘシ

甲第五拾號 十八日 區 署
 甲第五拾壹號 廿十日 區 署
 甲第五拾貳號 廿十日 郡 署

甲第五拾三號 十一月 郡、町村、區

市區役所町村役場ニ於テ調製スル戶籍表式別冊ノ通被定
 候條第一表ヨリ第七表マテハ毎年十二月三十一日ヲ以テ
 調査シ第八表ハ十九年ヲ初メトシ爾後六ケ年目毎ニ十二
 月三十一日ヲ以テ調査シ町村役場ニ於テハ所轄郡役所ヲ
 經由シ翌年一月三十一日限リ製表差出スヘシ
 但明治十九年五月當廳乙第九十三號達ハ廢止トス
 右相達ス
 (別冊)

第一	戶口表	明治何年十二月三十一日現在	市區町村名
本	籍	人	現住戶數
男	女	一合	

廿三年

一 現住戸數ノ欄ニハ本籍人ト本籍ニ非サル人ト又戸主タル者ト戸主ヲラサル者トヲ問ハス潭テ其地ニ現住シテ
 一世帯ヲ爲ス竈數ヲ記入スヘシ但官舎社寺學校病院製造所等ノ構内ニ居住スルモ別ニ一竈ヲナス者ハ又一戸トシテ之ヲ記入スヘシ
 一 町村制第百十六條第二項ニ依リ町村ノ組合ヲ設クルト雖モ一町村毎ニ製表シ町村名ノ肩ニ何町村組合ト記載スヘシ以下各表モ之ニ倣フ

第二 人口出入表

明治何年十二月三十一日現在

市區町村名

外國行	出				入		
	他府縣 出寄留	他郡市 出寄留	他町村 出寄留	陸海軍在 營艦者	囚人及 懲治人	失踪	他府縣他郡市他町村 入寄留入寄留入寄留

一 外國行ノ欄ニハ外國ニ行キタル者又他府縣出寄留ノ欄ニハ他府縣ニ出テ住スル者又他郡市出寄留ノ欄ニハ一府縣内ノ他郡市ニ出テ住スル者又他町村出寄留ノ欄ニハ一郡内ノ他町村ニ出テ住スル者ヲ記入スヘシ
 一 陸海軍在營艦者ノ欄ニハ歸休兵ヲ除キ現ニ陸海軍ノ屯

廿三年

營艦船ニ在ル下士卒備夫馬丁ヲ出寄留ト看做シテ記入スヘシ

一 囚人及懲治人ノ欄ニハ囚人ハ檢事ヨリ通知シタル犯人ニシテ未タ刑期ヲ終ラサル者及懲治場ニ在ル者ヲ出寄留ト看做シテ記入スヘシ

一 失踪ノ欄ニハ本年十二月三十一日調ノ戸籍ニ現ニ失踪ノ登記アル者ノ員數ヲ記入スヘシ

一 他府縣入寄留ノ欄ニハ他府縣ヨリ本郡市ニ來テ住スル者又他郡市入寄留ノ欄ニハ一府縣内ノ他郡市ヨリ來テ住スル者又他町村入寄留ノ欄ニハ一郡内ノ他町村ヨリ來テ住スル者ヲ記入スヘシ

一 東京市京都市大阪市ニ於テハ他町村出寄留又他町村入

寄留ノ欄ニハ他區ニ出テ住スル者又他區ヨリ來テ住スル者ヲ記入スヘシ

第三 本籍人族別表 明治何年十二月三十一日現在 市區町村名

合 計	平 民	士 族	華 族	戶 主 家		族 乘		兒 合		計
				男	女	男	女	男	女	

一 棄兒ハ本年末日現ニ戸籍ニ在リテ未タ人ノ養子女トナラサル者ノミヲ掲クヘシ

第四 本籍人生年別表
明治何年十二月三十一日現在 市區町村名

生年	計		生年不詳	合計
	男	女		
明治二十二年生				
同二十一年生				
同二十年生				
同十九年生				

一本表ハ本籍人ノ生年ヲ調査スルモノニシテ其調査ノ年ヲ首トシ以上年次ヲ逐ヒ明治慶應元治文久萬延安政嘉永弘化天保文政文化享和寛政天明安永ニ溯リ年號何年

生ト列記シ其生レタル年ニ從ヒ記入スヘシ例ハ明治二十三年生レノ下欄ニハ同年一月一日ヨリ十二月三十一日マテニ出生シタル者ヲ記入スルカ如シ但戸籍編製以前逃亡失踪シ其生年詳ナラサル者アルトキハ生年不詳ノ項ニ記入スヘシ

第五 本籍人出產死亡婚姻表
明治何年 市區町村名

類	生		別	男	女	合計
	死	産				
結婚數		公	生計			
		私				
離婚數		公	死計			
		私				
年末配偶數						

廿三年

表	属				類
	死	本籍不詳者死亡	乘兒 前年以前生	本年生	
死	籍不詳者死亡	乘兒	同十八年以前生	同十九年生	明治二十二年生
				同廿一年生	
				同廿年生	
					明治二十二年生
					男
					女
					合計

一本表ハ一ケ年ノ總數ヲ記入スルノ趣意ナリ

一生産者ノ數ヲ擧クルニハ例ハ明治廿三年ニ在テハ先ツ該年ノ登記目錄ニ就キ一月一日ヨリ十二月三十一日マテニ出產シタル數ヲ算出シ之ヲ第一數トシ次ニ明治廿四年ノ登記目錄ニ就キ廿三年十二月下旬ニ出產シテ其届出期限廿四年一月上旬ニ係リテ届出タル數ヲ算出シ之ヲ第二數トシ(此第二數ハ明治二十四年ノ出產表ニハ記入スヘカラス)此第一第二ノ數ヲ合シテ記入スヘシ

一死亡者ノ數ヲ擧クルハ生産者ノ數ヲ擧クル方法ト同シ

一出産届出以前ニ死亡シタル者ノ數ハ前項ノ方法ニ據リ生産死亡ノ兩項ニ各記入スルハ勿論トス

一結婚離婚ノ數ハ本年中結婚離婚ヲ届出タル件數即組數

附		屬		表	
類	別	男	女	合計	死
					明治二十二年生 同 廿一年生 同 廿年生 同 十九年生 同 十八年以前生

- 一 本表ハ一ヶ年ノ總數ヲ記入スルノ趣意ナリ
- 一 生産者ノ數ヲ擧クルニハ例ハ明治廿三年ニ在テハ先ツ該年ノ登記目錄ニ就キ一月一日ヨリ十二月三十一日マテニ出產シタル數ヲ算出シ之ヲ第一數トシ次ニ明治廿四年ノ登記目錄ニ就キ廿三年十二月下旬ニ出產シテ其届出期限廿四年一月上旬ニ係リテ届出タル數ヲ算出シ之ヲ第二數トシ(此第二數ハ明治二十四年ノ出產表ニハ記入スヘカラス)此第一第二ノ數ヲ合シテ記入スヘシ
- 一 死亡者ノ數ヲ擧クルハ生産者ノ數ヲ擧クル方法ト同シ
- 一 出產届出以前ニ死亡シタル者ノ數ハ前項ノ方法ニ據リ生産死亡ノ兩項ニ各記入スルハ勿論トス
- 一 結婚離婚ノ數ハ本年中結婚離婚ヲ届出タル件數即組數

廿三年

ナ記シ且結婚ハ婦又ハ婿ヲ迎ヘタル方離婚ハ之ヲ出シ
 タル方ニ於テ記入スヘシ
 一年未配偶ノ欄ニハ本年十二月三十一日調ノ戸籍ニ現ニ
 登記シアル夫婦ノ組數ヲ記入スヘシ
 一 附屬表生産届洩者ハ例ハ明治廿三年ノ調査ニ在テハ該
 年ノ登記目錄ニ就キ廿二年以前ニ出產シテ廿三年中ニ
 届出タル者ノ數ヲ二十二年生ヨリ十八年以前生マテノ
 五項ニ別テ記スヘシ爾後此例ニ依リ毎年繰上クルモノ
 トス
 一 同表棄兒ハ本年中ニ届出タル者ニ就キ本年中ノ出生ト
 推測シタル者ハ本年生ノ項ニ前年出生ト推測シタル者
 ハ前年以前生ノ項ニ區別シテ記入スヘシ

一 同表死亡届洩者ハ生産届洩者ヲ學クル如ク五項ニ區別
 スルニ及ハス總テ一項ニ合記スヘシ
 一 同表本籍不詳者ハ本年中行旅死亡人取扱規則ニ依リ取
 扱ヒタル數ヲ記入スヘシ但調査ノ際揭示中ニ係ル者ハ
 之ヲ除キ本籍不詳ト決シタル年ノ數ニ記入スヘシ
 一 同表死産ハ妊娠後四ヶ月以上ニシテ死胎分娩シタル者
 ナ云フ其數ハ素ヨリ登記目錄ニ記載セサルモノナルヲ
 以テ人民各自ノ届書ニ據リ死産ノ月日ニ拘ハラヌ本年
 一月一日ヨリ十二月三十一日マテニ届出タル數ヲ記入
 スヘシ但死亡數ヘハ算入スヘカラス

第六

就除籍送入籍及失踪表

明治何年

市區町村名

類 別	男	女	合 計
無籍者就籍			
外國ヨリ入籍者			
失踪者除籍			
重籍者除籍			
外國へ送籍者			
他府縣へ送籍			
府縣内送籍			
他府縣ヨリ入籍			
府縣内入籍			
失踪			

- 一 無籍者就籍ノ項ニハ明治五年戶籍編製ノ時ヨリ無籍ニシテ本年ニ至リ始テ籍ニ就キタル者ヲ記入スヘシ
- 一 外國ヨリ入籍者ノ項ニハ婚姻ニ依リ外國人ノ入籍シタル者ヲ記入スヘシ
- 一 失踪者除籍ノ項ニハ本年中滿八十歳ニ至リ除籍シタル者及八十歳以上ニシテ失踪シ本年中滿三十六箇月ニ至リ除籍シタル者ヲ記入スヘシ
- 一 重籍者除籍ノ項ニハ一人ニシテ兩所ニ本籍ヲ有スルニヨリ一方ヲ刪除シタル者ヲ記入スヘシ
- 一 外國へ送籍者ノ項ニハ婚姻ニ依リ外國へ送籍シタル者ヲ記入スヘシ
- 一 府縣内送籍又ハ入籍ノ項ニハ一府縣内ニ於テ本郡ト他

郡トテ問ハス總テ他ノ市町村へ送籍シ又他ノ市町村ヨリ入籍シタル者ヲ記入スヘシ但東京市京都市大阪市ハ他區へ送籍シ又他區ヨリ入籍シタル者ヲ記入スヘシ又市制施行セサル區ニ在テハ區外へ送籍シ又區外ヨリ入籍シタル者ヲ記入スヘシ

一總テ送籍ハ先ツ甲地ヨリ乙地ニ送籍シテ甲地ニ於テ乙地ヨリ入籍シタル旨ノ通知ヲ該年中及翌年一月製表ノ時マテニ受ケテ除籍シタル者ノ數ヲ記入スヘシ但其通知ヲ製表後ニ受ケタルモノハ翌年ノ數ニ合算スヘシ

一失踪ノ項ニハ本年一月一日ヨリ十二月三十一日迄ニ本籍人ノ失踪ヲ届出タル者ヲ記入スヘシ但復歸又ハ所在分明ノ届出アリタル者ハ此限ニアラス

第七 現住人出產死亡表

明治何年 市區町村名

公	生		死		有籍者		合	計
	男	女	男	女	男	女		
男								
女								
男								
女								
男								
女								
男								
女								
男								
女								

一本表ハ市區及人口二萬五千以上アル町村ニ限リ差出スモノトス

一本表ハ本籍人ノ其市街ヲ出テ住シテ出生死亡シタル者ヲ除キ他ヨリ其市街ニ來リ住シテ出生死亡シタル者ヲ加ヘテ調査スヘシ

一生産死亡ノ記入方ハ五表ノ説明ニ同シ但本年ニ係ル數ノミヲ記入シ前年以前ノ届洩ニ係ル者ハ記入ニ及ハス

第八 耕作及捕魚採藻業戸數表

明治何年十二月三十一日現在

市區町村名

	自耕		小作		計	捕魚採藻業		計	
	専業兼業	採魚採藻兼業	専業兼業	採魚採藻兼業		計	捕魚採藻業		耕作兼業
							自作小作		自作小作

一本表ハ明治十九年ヲ以テ第一回トシ爾後六年目毎ニ十二月三十一日ノ現數ヲ調査スル者トス

一本表ハ華族士族平民タルニ拘ラス十二月三十一日現ニ耕作業又ハ捕魚採藻業ニ従事スル者ノ戸數ヲ調査スルモノトス但戸數ノ記入方ハ第一表ニ同シ

一本表ハ戸内各人ノ職業ニ拘ラス該戸ノ首長タル者戸主

者ト戸主ヲササノ營ム職業ニ依リ其事實ヲ採集スルモノトス

一該戸ノ首長タル者事故アリテ自ラ家業ヲ營マスト雖モ其家ニ於テ之ニ代ル者アルトキハ尙ホ本表ノ戸數ニ算入スヘシ

一耕作業ヲ専業トシテ自作ト小作トヲ兼ル者又之ヲ兼業トシテ自作ト小作トヲ兼ル者ハ自作小作ノ内重ナル方ニ記入スヘシ

一捕魚採藻業者ニシテ耕作業ノ自作ト小作トヲ兼ル者亦前項ニ同シ

一専業ノ欄ニハ耕作又ハ捕魚採藻ノ業ヲ一途ニ營ム者ヲ記入スヘシ

一 耕作業中兼業ノ欄ニハ耕作業ヲ本トスルト否トヲ問ハ
 ス總テ該業ト他ノ業ヲ除クトヲ併セ營ム者ヲ記入ス
 ヘシ

一 耕作業中捕魚採藻兼業ノ欄ニハ耕作業ヲ本トシテ捕魚
 採藻業ヲ兼テ營ム者ヲ記入スヘシ

一 捕魚採藻業中兼業ノ欄ニハ捕魚採藻業ヲ本トスルト否
 トヲ問ハス總テ該業ト他ノ業ヲ除クトヲ併セ營ム者ヲ
 記入スヘシ

一 捕魚採藻業中耕作兼業ノ欄ニハ捕魚採藻業ヲ本トシテ
 耕作業ヲ兼テ營ム者ヲ記入スヘシ

甲第五拾四號十一月 郡町村區
 徵發事務取扱手續別冊ノ通改正ス

但明治十九年十二月當府甲第三十六號達ハ廢止ス
 右相達ス

(別冊)

徵發事務取扱手續

第一條 郡區長町村長ニ於テ陸海軍官憲ノ徵發書ヲ受ク
 ルルハ其物件ノ量數及物件差出場所等ヲ速ニ當廳ニ届
 出町村長ハ郡長ヘモ申報スヘシ

第二條 前條ノ徵發書ヲ受ケタルル其區内ニ於テ供給力
 乏シク賦課ノ數ニ充ツル能ハスシテ陸海軍官憲ヘ其旨
 申告シタルルルハ直チニ當廳ヘ届出町村長ハ郡長ヘモ申
 報スヘシ

第三條 郡區長町村長ニ於テ徵發ノ賦課ヲ受ケタルルハ

廿三年

第一號書式ニ依リ賦課票ヲ發スヘシ

第四條 徵發物件ヲ差出場所ニ輸送スルルハ第二號ノ使用証票ヲ製シ人夫及ヒ操業者ニ下付スヘシ

第五條 前條差出場所ヘノ輸送費ハ徵發區内ノ戶數ニ割リ賦課スヘシ

但シ郡區長町村長ニ於テ其部内郡區町村ニ係ル負擔額ノ賦課徵收方法ハ便宜之レヲ定ムルヲ得此場合ニ於テハ當廳ヘ届出ツヘシ

第六條 郡區長町村長ニ於テ徵發事務條例第十四條ニ依リ徵發ニ應スル便宜ノ方法ヲ豫定シタルルハ當廳ニ届出ツヘシ

第七條 郡區長ニ於テ徵發事務條例第四拾壹條ニ依リ徵

發人馬ノ供給ヲ便宜ニセシカ爲メ組合町村ヲ定メタルルハ當廳ヘ届出ヘシ

第八條 郡區長町村長ニ在テハ徵發令第拾貳條各項及第拾三條各項中物件ハ平常ノ賃價雇賃借賃代價給料及田畑植物一ケ年間ノ收穫平均三年ヲ平時取調置臨時差支ナキ様注意スヘシ

但徵發事務條例第五拾壹條ニ依リ賃價雇賃借賃等ヲ陸海軍官醫ヘ申出タルルハ其書面ノ寫ヲ以テ當廳ヘ届出ツヘシ

第九條 區長町村長ハ三ケ年毎ニ第三四號雛形ニ依リ馬匹車輛具表及物産收穫高表ヲ製シ翌年一月廿五日限リ區長ハ町村長ハ郡長ヘ差出スヘシ

廿三年

第拾條 郡長ハ前條諸表町村長ヨリ受ケタルキハ調査ノ
上一郡一表 表式ハ前ニ調製シ二月十日限り當廳へ差出
スヘシ

第拾壹條 徵發事務條例第廿一條ニ依リ郡區長ニ於テ調
製スル附錄第三號ノ一表ハ用紙美 濃紙 貳通ヲ製シ二月廿八
日限り當廳へ差出スヘシ

但シ明治廿三年十二月調ヲ以テ第一回トシ同廿五年
十二月調ヲ以テ第二回トシ自後之レニ準ス

第拾貳條 前條附錄第三號ノ一表ハ左ノ項目ニ依リ取調
フヘシ

本年甲第五十八號ヲ以テ本條各項改正

第拾三條 區長町村長ハ第五六七八九號雛形ニ供リ船舶

漁船表ヲ製シ毎年一月廿五日限り 區長ハ町村長ハ郡役
所ヲ經テ當廳へ差出スヘシ

第拾四條 登簿噸數百噸以上ノ漁船ヲ新タニ製造シ又ハ
買入タル者アルキハ第拾號書式ニ依リ市ハ區長郡ハ町
村長ニ於テ製シ其都度 區長ハ町村長ハ郡役所ヲ經テ當
廳へ届出ツンシ

但シ他へ賣却セシモノアルキハ其都度本文ノ如ク届
出ツヘシ

第壹號 賦課票

記

何郡何町村
區長町村長ヨリ人民ニ課ス
ル場合ハ姓名ノミヲ記ス
何

廿三年

第四號

用紙美濃紙

物産收穫高

明治何年調

甲		乙			
區町村名	何區	何村	何町	何町	計
米	石				
麥大	石				
麥小	石				
麥裸	石				
麥	石				
鹽	石				
味噌	貫				
醬	貫				
油漬	石				
物梅	樽				
干秣	樽				
蕪	貫				
藪	貫				

一表中甲部ハ上下京區ノ例トス乙部ハ郡部ノ表式トス
 一本表物産ハ其中ニ收穫セシ總數ヲ記載スヘシ
 一醬油ハ其年中國稅徵收ノ檢査ヲ爲シタル高ヲ記載スヘシ
 一物品ノ計數ハ四拾五入ノ法ヲ用ヒ石貫樽ニ止ムヘシ
 一本表ハ明治廿三年調ヲ以第一回トシ廿五年調ヲ以第二回トシ自後之ニ準スヘシ
 (本年甲第五十八號ヲ以テ三項追加)

第五號

用紙美濃紙

西洋形船舶器械製造修繕場表	
持主	所在地名
何國何郡(區)何町(村)何番地華(士)族(平民)何某	何國何郡(區)何町(村)何番地何港(河)東(南、西、北)岸
每年十二月卅一日調	何郡何町(村)役場
創業年月	何年何月
造第一長サ	何尺
盤木ノ廣サ	何尺
水中臺尾ヨリ滿潮面迄深サ	何尺
斜度	何「ミリ」

廿三年

修 船 臺									船 第 二 同	臺 第 三 同
浮 泛			揚 曳			渠 船			第 一 同	第 二 同
第 三 同	第 二 同	第 一 同	第 三 同	第 二 同	第 一 同	第 三 同	第 二 同	第 一 同	第 一 同	第 一 同
同	同	廣サ			何 尺 機 械 最 大 ノ 噸 數			渠 口 最 大 ノ 廣 サ	渠 口 最 大 ノ 長 サ 何 尺	第 一 盤 木 上 最 大 ノ 長 サ 何 尺
同	同	浮 浮 力 最 大 ノ 噸 數 何 噸						何 尺	半 時 滿 潮 面 ヨリ 渠 口 底 ニ 至 ル	同

百七十四

汽 機 製 造 最 大 極										造 船 機 械 工 長	造 船 機 械 工 長	
前 三 箇 年 間 製 造 シ タ ル 船 隻 ノ 馬 力 及 噸 數		模 型 職 工	製 圖 職 工	製 帆 職 工	填 隙 職 工	船 具 職 工	端 舟 職 工	造 船 職 工	端 舟 職 工	造 船 職 工	何 馬 力	何 噸
何 噸	何 馬 力	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人
何 噸	何 馬 力	鉋 鋸 器 械 職 工	製 管 職 工	整 飾 職 工	撓 鐵 職 工	組 立 職 工	旋 盤 職 工	鑄 造 職 工	旋 盤 職 工	鑄 造 職 工	何 人	何 噸
何 噸	何 馬 力	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 人	何 噸

百七十五

廿三年

一各職工ノ數ハ場内最大事業ニ要スル一日ノ總數ヲ記スヘシ
 一造船職工ニシテ端舟職工ヲ兼ル者アレハ造船職何人内兼端舟職何人ト記スヘシ他
 ノ兼職モ之ニ準ス

第六號

用紙美濃紙

日本式西洋式鑄造場表

毎年十二月三十一日調

京都市何區役所
 何郡何町(村)役場

持	主	何國何郡(區)何町(村)何番地華(士)族(平民)何某
所在地名	何國何郡(區)何町(村)何番地	
熔鐵爐數	何箇	
熔鐵量	何貫目	
熔鐵機械種類	汽(人力)	
平常製造品種	何品	
職工ノ數	何人	

一職工ノ數ハ場内最大事業ニ要スル一日ノ總數ヲ記スヘシ
 一熔鐵量ハ爐數ノ多少ニ拘ハラズ一回ニ熔解シ得ル量ヲ掲クヘシ
 一本表ニハ一回ノ熔鐵量百貫目以下ノ鑄造場ハ之ヲ掲ルヲ要セス

第七號

用紙美濃紙

旋盤三臺以上設置鐵工場表

毎年十二月三十一日調

京都市何區役所
 何郡何町(村)役場

持	主	何國何郡(區)何町(村)何番地華(士)族(平民)何某
所在地名	何國何郡(區)何町(村)何番地	
旋盤長	何「ヒート」	
旋盤眞隔	何「インチ」	
器械種類	汽(水車)(風車)(人力)	
馬力	何馬力	

船名	何	九	所屬會社或ハ船主	何國何郡何町(村)何番地	何々社或ハ何某
	免狀番號	何番	定航地方事務扱所	何港何郡何町(村)何番地	何々社或ハ何某
登簿噸數	何噸	二五	買入代價	何	圓
製造年月	何年何月	何年何月	航路定限	外國、內國、近海或ハ平水	航船
檢査年月	何年何月	何年何月	檢査證書有効期限	何	箇月
用定	方郵船旅客貨物或ハ挽船	運航港津	何港ヨリ何々ヲ經テ何港迄或ハ何港何港間	何	何
一晝夜ノ費炭	何斤	一晝夜ノ油費	何	何	何
一晝夜ノ脂費	何斤	蒸溜小機械一晝夜	何	何	何
船長及運轉手定員	何人	機關手定員	何人	何人	何人

事務係定員	何人	水夫定員	何人
火夫定員	何人	自餘乘組定員	何人

甲第五拾五號 十一月十二日 町村區
 明治十七年三月第七號公布地租條例第十條ノ地目及地類變換届出ルモノアル時ハ直チニ其變換セシ地目ハ土地臺帳元地目ノ傍ニ朱字訂正シ元段別地價地租ヲ其變換セシ地目ニ組換修正地租徵収年度ニ於テ修正ノ段別地價地租ニ土地臺帳更正スヘク候條其役場役所ニ於テモ之ニ倣ヒ備置ノ諸帳簿訂正スヘシ

右相違ス

甲第五拾六號 十一月廿七日 郡

廿三年

東京府東京市内所得稅事項ハ自今直稅分署ニ於テ取扱ヒ
所得稅法施行細則第九條ニ係ルモノハ同分署長ヲ以テ通
報セシムヘキ旨通知越候條右ニ關スル事項ハ直ニ同分署
長ヘ通報スヘシ
右相達ス

甲第五拾七號 十一月廿八日 郡、町、村、區

召集布達兵員到着日數調査ハ法律ノ公布等ニ因リ自ラ陸
軍召集條例ニ依リ難キヲ以テ陸軍大臣ノ認可ヲ得別紙ノ
通調査例ヲ設定ノ旨第四師團長ヨリ通牒アリタリ
右相達ス

(別紙)

召集布達兵員到着日數表調査例

- 第一項 師團司令部ヨリ地方廳ニ地方廳ヨリ郡市區役所
ニ電信ヲ以テ達シ得ル地ハ平時通信上ノ實驗ニ因リ其
時間ヲ記シ又電信ノ便ヲ有セサル地ハ飛信ヲ用ユルモ
ノトシ其速度ハ一時間一里半ヲ基準トシテ算ス可シ
- 第二項 郡役所ヨリ町村役場ニ達スルニハ一役場ニ一脚
夫ヲ發スルモノトシ一時間一里半ノ速度ヲ基準シテ算
ス可シ
- 第三項 市區役所及町村役場ヨリ市區町村ニ居住スル兵
員ニ達スルニハ脚夫數名ヲ同時ニ發シ一時間迄里數一
里ノ速度ヲ基準トシテ算スヘシ但數名ノ脚夫中最遠距
離ニ到ル里數ヲ記スルモノトス
- 第四項 市區町村ノ兵員前項ノ達ヲ受タルトキ旅費給
與ノ者

廿三年

ハ其金額ヨリ起算シ廿四時經過ノ後召集地若クハ集合領収後地ニ向ケ出發スルモノトシ尤モ召集令狀領収後二十四時以上經過スルモノハ旅費金額領収後即時出發スルモノトシテ算スヘシ

第五項 市區町村ノ兵員召集地若クハ集合地ニ到ル路程順路ニシテ瀛車路海路陸路ノ各種アルトキハ最モ時間ノ短縮スヘキ方ニ依ル其一日行程瀛車路二百哩海路百海里陸路十二里ヲ以テ日數ヲ計算スヘシ
瀛車路海路陸路ノ端里數ハ之ヲ時間ニ改算シ十二時間ヲ以テ一日トス其十二時未滿六時以上ハ一日トシ六時未滿一時以上ハ半日ト算ス可シ但時間ノ算法ハ瀛車路十六哩海路八海里陸路一里ヲ以テ一時間ノ定里トス

第六項 前項ノ路程各種ニ跨ルトキハ總テ之ヲ陸路ニ改算スヘシ其改算一哩ハ陸路十四町四十三間一尺三寸六分一海路ハ陸路十六町九分七厘五毛トス但改算シタル里數ハ陸路左方區畫ニ朱記スヘシ

第七項 凡テ里數ノ計算ハ陸路ニ在テハ里程原標瀛車路ハ停車場海路ハ波止場ヲ基トシテ算スヘシ但各種ノ路程ニ跨ルトキ一市又ハ一町村内ニテ乘車下車或ハ乘船上陸セシトキ該原標ト停車場及波止場ノ里數ハ算入セズ

第八項 出納官吏旅費支給場所ニ到ル時間ノ算法ハ一時間一里ノ速度ヲ以テ經過スルモノトシ又其場所ニ於テ要スル滯費時間ハ兵員毎四十人ニ一時間トシテ算スヘシ

シ但兵員二十人未滿ノ場所ニ在テハ二十分間トス

第九項 前項ノ人員ハ近衛若クハ師團豫備兵ノ概算數ニ因ルヘシ

第十項 凡ソ事務整理ノ爲メニ要スル滯費時間ハ地方廳郡市區役所及町村役場トモ各二時間ト定メ其時間ハ布達時間中ニ合算スヘシ

兵員出發迄ノ猶豫時間即チ二十四時及第八項ノ旅費支給ニ要スル時間ハ召集地若クハ集合地ニ到ル日數中ニ加算スヘシ

第十一項 召集地若クハ集合地ニ到着スル總日數ヲ算出スル布達時間ハ廿四時ニ滿タサル時間六時以上ハ一日トシ六時未滿ハ勿除スヘシ

第十二項 凡ソ時間ハ分時迄汽車路ハ哩數海路ハ海里數陸路ハ丁數迄ヲ記スヘシ

第十三項 召集事務ハ晝夜ヲ分タサルモノトス

第十四項 本表ハ每郡市區ニ分チ調製スヘシ

第十五項 豫備後備將校下士ニ在テハ各自ニ就キ別ニ師團司令部旅團司令部大隊區司令部監視區長駐劄所郡市區役所ヲ經テ直ニ市區町村ニ到ル日數及布達時間ヲ調査シ然ル後前諸項ヲ適用シ師團司令部發令ヨリ召集地若クハ集合地到着迄ニ要スヘキ日數ヲ算定スヘシ但事務整理ノ爲メニ要スル滯費時間ハ旅團司令部大隊區司令部監視區長駐劄所及郡市區役所トモ各二時間ト定ムルモノトス